

平成18年度事業報告

平成18年度の社団法人全国脊髄損傷者連合会の主な活動は下記の通りです。

〔全国総会の開催〕

(社)全国脊髄損傷者連合会山形県支部主催により、平成18年6月17日(土)・18日(日)に、山形テルサにおいて、第5回総会・山形県大会を開催致しました。

山形県支部の吉田支部長を先頭として二年越しの準備期間を経て準備万端の下での開催でありました。

この山形県大会には総勢で207名が参加し《式典・シンポジウム・総会・懇親会・サクランボ祭り・最上川くだり》の各行事が、それぞれ、成功裡に終了することができました。

このことは、山形県支部のご尽力と参加された会員の方々のご協力の賜物と感謝を致しております。

〔全国各ブロック会議の開催〕

平成18年4月1日より平成19年3月31日までの間、(社)全脊連の全国の7ブロックにおいて、ブロック会議が開催されました。

この会議では《会議中心の所・翌日にはスポーツ交流会を開催した所、10年後を模索した所》それぞれの地域の特性が現れた大会でした。ブロック会議には本部理事が出席し、会議の内容報告が理事会であったり、ブロック会議の開催支部より議案書が本部に寄せられて各ブロックでの提案問題等々についての提起がされました。

〔理事会の開催〕(拡大理事会含む)

平成18年4月1日より平成19年3月31日までの間、第37回理事会の開催から第46回理事会の開催まで合計で10回の理事会を開催致しました。

この理事会では、第5回総会山形県大会で承認された事業を基とした活動を管理し、各ブロック及び各県支部からの要望について議論をし、活動方向を決める等を行い、各理事がそれぞれ活動いたしました。

又、平成18年9月18日開催の拡大理事会の翌日には、各ブロック理事も出席し、国会議員会館において省庁交渉を行ないました。

1. 広報及び情報提供

【1】脊損ニュースの発行

1年間無事に発行してきましたが、今年度はやはり障害者自立支援法が施行されたこともあり、障害者自立支援法に関することにずいぶん紙面を割き、皆にわかりやすい記事づくりということを中心に心がけました。医療問題、無年金問題・労災遺族年金問題なども取り上げました。東横インの事件もあり、それに関する意見などの投稿もありましたが、その他の会員の投稿記事も増え紙面が大変充実しました。

【2】インターネット関連事業

(1) インターネット活動については、会員ID・パスワード発行者数とML登録者数は、徐々にではありますが確実に増えておりますが、掲示板への書き込みは残念ながら殆ど無いという状況です。メールによる問い合わせ等も増えつつあり、現在は本部理事を中心とした的確・丁寧な対応に努めております。また、(株)キロックスとのコラボレーションであるインターネット版「全国車いす宿泊ガイド」は10回以上の合同会議を重ね、2月にVer. 2が完成しました。しかしながら、登録ホテル件数が漸く130件を超えたばかりで、未だ情報提供ポータルサイトとしては不十分であると言わざるを得ない状況です。

現在、会員限定エリアへ入るための会員IDとパスワードは199(+34)名の方へ発行致しました。一般公開されたMLのメンバーは250(+77)名、事務処理用に設けたML(ネットオフィス)も36(+4)支部の登録がされております。また、27支部がホームページを開設しています。

(2) 新規事業の実施

1. インターネット版「全国車いす宿泊ガイド」(予約システム付)立ち上げのための合同会議
インターネット版「全国車いす宿泊ガイド」のポータルサイトを(株)キロックスと協働して立ち上げ、運営のための合同会議を行いました。

①第6回合同会議

開催日 4月22日(土)

会場 ロックシステム本社

出席者 全脊連: 6名 ロックシステム/キロックス: 4名

②第7回合同会議

開催日 5月27日(土)

会場 ロックシステム本社

出席者 全脊連: 5名 ロックシステム/キロックス: 4名

③第8回合同会議

開催日 6月24日(土)

出席者 全脊連: 4名 ロックシステム/キロックス 6名

④第9回合同会議

開催日 7月22日(土)

会場 ロックシステム本社

出席者 全脊連: 6名 ロックシステム/キロックス: 5名

⑤第10回合同会議

開催日 8月26日(土)

会場 ロックシステム本社

出席者 全脊連:5名 ロックシステム/キロックス:6名

⑥第11回合同会議

開催日 10月7日(土)

会場 ロックシステム本社

出席者 全脊連:6名 ロックシステム/キロックス:4名

⑦第12回合同会議

開催日 11月4日(土)

会場 ロックシステム本社

出席者 全脊連:6名 ロックシステム/キロックス:6名

⑧第13回合同会議

開催日 12月16日(土)

会場 ロックシステム本社

出席者 全脊連:5名 ロックシステム/キロックス:6名

⑨第14回合同会議

開催日 1月21日(日)

会場 ロックシステム本社

出席者 全脊連:7名 東京都支部:2名 ロックシステム/キロックス:6名

⑩第15回合同会議

開催日 2月12日(月)

会場 ロックシステム本社

出席者 全脊連:6名 ロックシステム/キロックス:5名

⑪第16回合同会議

開催日 3月10日(土)

会場 ロックシステム本社

出席者 全脊連:6名 ロックシステム/キロックス:5名

3. 第33回国際福祉機器展に全脊連のブースを設置

平成18年9月27日~29日、東京ビッグサイト(東京・有明)にて開催された第33回国際福祉機器展に全脊連のブースを設置(4-046「在宅・施設サービス経営情報システム」)し、インターネット版「全国車いす宿泊ガイド」および全脊連活動の紹介を行いました。

4. インターネット版「全国車いす宿泊ガイド」お披露目会および年始会の開催

平成19年2月2日(金)、京王プラザホテル5階(コンコードA)に於いてインターネット版「全国車いす宿泊ガイド」のお披露目会及び本部&東京都支部の年始会を開催しました。参加者は105名(全脊連:54名・来賓者:51名)でした。

5. プレス発表の実施

平成19年2月19日、国土交通省・記者会見室(中央合同庁舎三号館5階)にて「インターネット版全国車いす宿泊ガイド」のプレス発表を行いました。

このプレス発表には妻屋理事長、千葉専務理事(全脊連)、浜田氏、福井氏(キロックス)の4名が出席しました。

【報道例】

○新聞社：日本経済新聞（２月２０日）夕刊 社会面、シルバー産業新聞（２月１０日）、福祉新聞（２月２６日）

○読売新聞（３月２３日）朝刊

○ＴＶ：NHK ニュース おはよう日本（２月２０日）

○雑誌：月刊「ホテル旅館」（２００７年３月号）、グローバルヴィジョン（２００７年４月号）

○ニュースサイト：サンケイスポーツ、東京新聞、河北新聞社、東奥日報、秋田魁新報 さきがけ on The Web 岩手日報、千葉日報、静岡新聞、北陸中日新聞、山梨日日新聞、北國新聞社、富山新聞、中日新聞、岐阜新聞、福井新聞、日刊県民福井、西日本新聞、神戸新聞、山陽新聞、山陰中央新報、四国新聞、徳島新聞、長崎新聞、佐賀新聞、熊本日日新聞、47NEWS、gooニュース、i-revoニュース、レッシユアイニュース、@nifty、exciteニュース、DION ニュース、楽天 Infoseek ニュース、楽天woman最新ニュース

6. 現状の営業活動について

1) 現状報告

掲載数：126件（３月２４日現在）

2) 営業活動報告等

- ①プレス発表後に FAX 営業を約3,000件に対して継続中である。2,000件程度完了した現時点での申し込み数は約50件である。
- ②ホテルガイドを利用し追加リストを作成し、FAXDMを実施する。
- ③2月2日以前の宿泊施設にマニュアルは送付済であるが、入力の実施をお願いを実施する。
- ④全脊連の各支部に対しての営業活動協力は3月号のニュース掲載や通知など順次実行する。
- ⑤旅行会社との連携が必要なので、営業活動を実施する。
- ⑥本部メールに対しての質問などの窓口担当者を決める。
- ⑦大口顧客に対しての営業を検討、実施する。
- ⑧キロックスも必要に応じて営業応援をする。
- ⑨全脊連が所有する第4版の「宿泊ガイド」の販売先リストの利用方法を検討する。

3) 申し込み後の体制について

- ①添付資料を参照してください。
- ②IDとPASSの提供はキロックスで一元管理して実施する。
- ③マニュアルについてはネットでダウンロードする方式にするが、必要な場合は印刷して送付する。その場合の印刷はキロックスで行うが、印刷代は全脊連の負担とする。

7. 今後の営業方針について

営業活動先としては以下が考えられるので、それぞれを検討し総合的な営業方針を検討する。

- ①プレス（広告宣伝）＝プレス発表、公共ニュースなどの活用が考えられる。まずは、国土交通省でのプレス発表からスタートする。
- ②宿泊施設＝この事業を成功させるためには必ず結果が必要な営業である。昨年の8月より実施して、170件の成果があるが、まだまだ不足している。
- ③顧客（利用者）＝「サイトが充実すれば自動的に顧客が増える。」の考え方で当面は対応しない、ただし、利用者の声は重要であるので、委員会の設置などで対応する。
- ④旅行会社＝JTB・近ツリ・日本旅行・・・等の旅行業者との連携の模索は重要である。出来

れば、包括的な付き合いの方法を検討したほうが良い。

⑤行政関連＝国土交通省・JATA・地方公共団体などとは常に連携をとる。また、可能な限り認定など、このビジネスの後押しになるような関係を構築する。

⑥各種団体＝バリアフリーを求める団体との連携を検討する。

第一段階は“リンク”から始める。

企業・・スポンサー企業として参加してくれる企業を獲得する。

【3】福祉制度の関連資料等の配布

全国各県支部長及び各理事宛、メール（ML登録者）、FAX、郵送等にて送付した資料は下記の通りです。

平成18年

5月9日 第32回理事会議事録

5月21日 ①第5回総会山形県大会「委任状用紙」及び「代理人依頼報告書」の送付及び提出のお願い

②第5回総会山形県大会議案書、監査報告書

5月26日 障害者自立支援法についての理事会(拡大理事会含む)の見解、方向に関する回答

6月6日 第38回理事会議事録

平成18年度ブロック会議、本部提案議題

6月12日 自動車の運転免許取得に関するアンケートのお願い

6月23日 障害程度区分に関する通知等

6月28日 平成18年度「脊髄損傷者のピアマネジャー養成研修会」参加者募集

7月12日 第5回総会山形県大会欠席支部宛て配布資料

①無年金障害者実態調査報告

②人にやさしい地下街ガイドマップ(大阪)

③ARM 補助的人工ロボット(DVD)

④患者の声を医療に生かす「希望の光で仲間を照らす」(DVD)

7月1日 ①第39回理事会議事録

②平成18年度メイスン財団による電動車いす寄贈先選定の依頼

8月2日 バリアフリー法に関する意見募集

8月14日 ①障害者自立支援法施行令等の一部を改正する政令案」、「障害者自立支援法の一部の施行に伴う関係政令の整備に関する政令案」に対する意見募集について

②「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」に基づく政省令案及び基本方針案に関するパブリックコメントの募集について

③第40回理事会議事録

8月14日 障害者自立支援法の10月施行を前に表出している課題について(案)

8月15日 ALS等の重度障害者の事例(S市の場合)

8月15日 障害者自立支援法の早急な見直しを求める緊急要望(案)

8月16日 第39回、第40回理事会録議事 メールにて

8月16日 HCRのポスター及びDM用案内ハガキ紙の送付について

8月17日 「リーダーシップ研修会」のお知らせ

8月25日 ①重度訪問介護経過措置について

②メイスン財団による電動車いす寄贈先選定について

③アンケート調査、協力依頼について・・・東京、神奈川県支部長宛
ノンステップバスのご利用に関するアンケート(交通エコロジーモビリティ財団)

- 9月25日 障害者自立支援法の介護給付について
10月17日 ①第41回理事会(各大理事会)議事録
②佐賀県パーキングパーミット制度のパンフレット
10月25日 脊損ニュース10月号に掲載された水道料金の減免について
10月25日 第43回理事会議事録
10月27日 障害者自立支援法の運用上の改善を求める緊急要請
11月 1日 歩車道境界のユニバーサルデザインを目指した構造の評価実験参加者募集の
お願い
11月 3日 重度訪問介護と居住地特例について(問題点整理)
11月 6日 第38回、第39回理事会議事録
11月17日 ①第42回理事会議事録
②お詫びとアンケートのお願い(脊損ニュース編集担当)
③脊髄損傷者のピアマネジャーに関するお願い
11月20日 介護保険制度の範囲拡大に対する意見聴取について
12月25日 第43回理事会議事録
平成19年
1月11日 全脊連本部&東京都支部合同の「新年の集い」及び「インターネット版全国車いす
宿泊ガイド」正式オープンお披露目会開催の案内(関東ブロック、各理事、業者関
係)
2月 8日 第44回理事会議事録
2月11日 平成18年度障害者施策総合調査ご協力のおお願い
①平成18年度障害者施策総合調査「雇用・就業」に関する調査票
-(財)日本障害者リハビリテーション協会-
②平成17年度障害者施策総合調査報告書
-(財)日本障害者リハビリテーション協会-
2月16日 脊損ニュース合本号(2006)送付について
2月23日 第6回総会東京大会開催要項
2月26日 第45回理事会議事録
3月30日 脊髄損傷者のピアマネジャー養成研修事業 平成18年度報告書
3月30日 第46回理事会(拡大理事会)議事録

【4】入会ガイドの配布

新入会員の勧誘や、各関係機関に配布するために製作した全脊連の入会ガイド「明日から元
気ケア」は支部の要請に応じ配布しました。

【5】「労災遺族年金の手引き」の発行

全脊連が作成・発行した労災保険法「遺族年金の手引き」は、脊損ニュース、全脊連のホー
ムページにて購入申込み受け付中です。定価は、2,500円
(会員特別価格は、送料込みで2,000円)。

2. 社会参加促進事業

【1】脊髄損傷者のピアマネジャー養成研修最終年事業の実施

平成18年度・脊髄損傷者のピアマネジャー養成研修会は、第4回養成研修会（九州地区）、第5回養成研修会（中四国地区）を実施しました。平成16年度より3ヵ年計画で実施した「脊髄損傷者のピアマネジャー養成研修事業」は、平成18年度の養成研修事業で終了しました。研修修了者は168名。

1. ピアマネジャー養成研修事業準備・評価のための委員会の設置と開催

①設置目的

全国45支部に配置するピアマネジャーの養成を目指し、その研修内容及びテキスト作成等を検討するための準備・評価のための委員会を設置しました。

②委員構成(計10名)

委員長 吉永 勝訓（千葉県千葉リハビリテーションセンター・センター長）
委員 小滝みや子（千葉県千葉リハビリテーションセンター・ソーシャルワーカー）
委員 藤井 直人（神奈川県総合リハビリテーションセンター研究部リハ工学研究室・室長）
委員 田淵 規子（NPO自立生活センター東大和・事務局長）
委員 辻 一（社団法人大阪脊髄損傷者協会・会長）
委員 仲根 建作（社会福祉法人那覇市社会福祉協議会地域福祉課・課長）

(内部委員)

委員 妻屋 明（社団法人全国脊髄損傷者連合会・理事長）
委員 大濱 眞（社団法人全国脊髄損傷者連合会・副理事長）
委員 市川 博（社団法人全国脊髄損傷者連合会・専務理事）
委員 千葉 均（社団法人全国脊髄損傷者連合会・専務理事）

③ピアマネジャー養成研修事業準備・評価委員会の開催実績

◎第1回 準備・評価のための委員会

開催時期：平成18年7月17日

開催場所：戸山サンライズ地下1階会議室

出席人数：10名

議 題

- (1) 平成16年度および平成17年度の報告
- (2) 平成18年度スケジュールの説明
- (3) 平成18年度事業全般について
- (4) その他

◎第2回 準備・評価のための委員会

開催時期：平成18年10月29日

開催場所：戸山サンライズ地下1階会議室

出席人数：10名

議 題

- (1) 九州地区における養成研修会開催の報告

- (2) 平成18年度改訂版テキストの修正に関して
- (3) 『脊髄損傷者のピアマネジャー養成研修事業』終了後についての検討
- (4) 中四国地区における養成研修会への委員の方の出席について
- (5) その他

◎第3回 準備・評価のための委員会

開催時期：平成19年2月3日

開催場所：戸山サンライズ地下1階会議室

出席人数：10名

議 題

- (1) 養成研修事業の成果報告について
- (2) 事業の今後について
- (3) 御礼の挨拶
- (4) その他

2. 脊髄損傷者のピアマネジャー養成研修会の開催

◎第4回脊髄損傷者のピアマネジャー研修会（九州地区）

開催日程：平成18年9月2日（土）～3日（日）

開催場所：ウェルサンピア鹿児島あいら

出席人数：40名（講師6名、内部委員4名、参加者30名）

（研修内容）

□9月2日（土）

はじめに

第1章 脊髄損傷者のピアマネジャーの基本理念と意義

第3章 ピアマネジメントの実際

2. ケアマネジメントの過程とピアマネジャーの役割

3. 相談援助技術

第4章 記録のとり方とその重要性（含む事例サンプル）

第5章 社会資源の活用（法・施策など）

(1) 制度の概要 (2) 医療福祉用具の利用 (3) 住宅改造 (4) 外出支援

(5) レクリエーション (6) 情報収集

第6章 全脊連のピアマネジメント体制

付録 用語集

□9月3日（日）

第2章 脊髄損傷者の基礎知識(医学的なこと)

第3章 ピアマネジメントの実際

1. 自立生活の概念と脊髄損傷者の自立

4. 支援内容

(1) 入院中の患者へのサポート

(2) 電話相談 大きなニーズと可能性

(3) 患者へのサポート

(4) 患者から生活者へ、そして社会へ

(5) 日常生活における支援

5. 関係機関へのアプローチとネットワーク化

演習（グループ別）：事例1、演習（グループ別）：事例2

修了式 講評 修了証授与

◎第5回脊髄損傷者のピアマネジャー養成研修会（中四国地区）

開催日程 平成18年12月9日（土）～10日（日）

開催場所 岡山勤労者総合福祉センター「岡山テルサ」

出席人数 36名（講師6名、内部委員3名、参加者27名）

□12月9日（土）

はじめに

第1章 脊髄損傷者のピアマネジャーの基本理念と意義

第2章 脊髄損傷者の基礎知識(医学的なこと)

第3章 ピアマネジメントの実際

5. 関係機関へのアプローチとネットワーク化

第4章 記録のとり方とその重要性

第5章 社会資源の活用（法・施策など）

①制度の概要 ②医療福祉用具の利用 ③住宅改造 ④外出支援

⑤レクリエーション（余暇活動） ⑥情報収集

第6章 全脊連のピアマネジメント体制

付録 用語と説明

□12月10日（日）

第3章 ピアマネジメントの実際

1. 自立生活の概念と脊髄損傷者の自立

2. ケアマネジメントの過程とピアマネジャーの役割

3. 相談援助技術（2～3）

4. 支援内容

①入院中の患者へのサポート

②電話相談／大きなニーズと可能性

③患者へのサポート

④患者から生活者へ、そして社会へ

⑤日常生活における支援

演習（グループ別）事例1、演習（グループ別）事例2

修了式 講評 修了証授与

3. 演習の実施

脊髄損傷者のピアマネジャー養成研修会の初級コースで得られた知識や技術を踏まえて、更に実践的なピアサポートの技術を身につけるため、各グループで討議を行い、事例に対してどのようなピアサポートができるのかについて支援計画を立て、合わせてその感想をまとめて書いて下さい。又、演習事例はこれまでに実際に行ったピアサポートを基に2例を選んで作成されたものですが、この事例を理解してその内容を相談支援カードに書き込んでいただきました。

4. 事業の成果

①2回の準備・評価委員会にて議論を重ね「脊髄損傷者のピアマネジャー養成研修テキスト」（1

7年度改訂版)をもとに平成18年度は2回の養成研修会を開催した。「第4回脊髄損傷者のピアマネジャー養成研修会」(九州地区)は、平成18年9月2日、3日の二日間の日程でウエルサンピア鹿児島あいらに於いて開催。受講者は、30名。

「第5回脊髄損傷者のピアマネジャー養成研修会」(中四国地区)は、平成18年12月9日、10日の二日間の日程で、岡山勤労者総合福祉センター「岡山テルサ」に於いて開催。受講者は、27名。いずれの研修会終了後、受講者に対し修了証を授与。3月末に脊髄損傷者のピアマネジャー養成研修修了者証(写真入りカード)を送付した。

- ②第3回準備・評価委員会では、3年間における準備・評価委員会で各委員及び内部委員より提案された項目を踏まえ、第一段階として研修修了者を全脊連HPに掲載することとした。また、各県支部に対しピアマネジャー活動の実施状況についての実態調査、脊損対応の病院及びリハ施設の紹介などを要請することとした。また本部においては、ピアマネジャー活動費確保のための助成金申請先の調査、各県支部で実施した事例レポートの吸い上げを行い情報の蓄積、ピアマネジャーに関する統一した基準のシステム作り、費用対効果の計算、他団体が実施しているキャッチシステムの勉強、ピアサポートモデル事業を行なうための企画案の作成等を行なうこととした。

5. アンケートの実施

【平成18年度脊髄損傷者のピアマネジャー養成研修会のアンケート項目】

- 1) 研修会を受けた動機について
イ. 自由に
- 2) あなたのピアマネジャーの経験について
イ. ピアマネジャーの経験がある(約 年間) ロ. 無し
- 3) 研修会の日程について
イ. 二泊三日は(長すぎる・短すぎる・丁度よい・泊 日がよい) ロ. その他自由に
- 4) 講義(演習含め)の時間配分について
イ. 講義については(長い・丁度良い・短い・その他) ロ. 演習については(長い・丁度良い・短い・その他) ハ. その他自由に
- 5) テキスト本の内容について
イ. 本の内容は(理解しやすい・普通・理解しにくい・その他) ロ. その他自由に
- 6) 相談カードへの書き込みについて
イ. 解りやすい相談カードである ロ. 解りにくい相談カードである
ハ. その他自由に(改善すべき事柄等)
- 7) 全脊連のピアマネジャーを公的な相談機関とするについて
イ. 公的な機関とすべきである ロ. 全脊連内部の相談機関で充分である ハ. その他自由に
- 8) 研修を受けて今後の自分の活動について
イ. これからピアマネジャー活動を所属した部内で(行いたい・解らない・やりたくない・その他)
ロ. その他自由に
- 9) 更に上級の研修を受けたいと思いますか
イ. 受けたい ロ. 受けたくない ハ. その他自由に
- 10) 研修を受けた感想について

①ピアマネとしての本格的なことはしていませんが、個人的には、地域の病院に新しい脊損者が入院していることを聞いたら、出かけて自分の体験を話す。

イ. 二泊三日は（長すぎる・短すぎる・丁度よい・泊 日がよい）

①5泊6日がよい

②どこかに交流会を入れるとよいと思った。

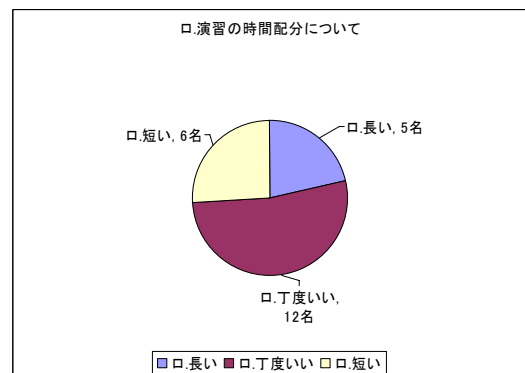
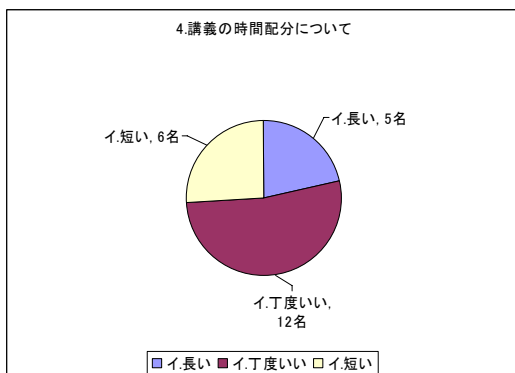
③本来ならば、もっと長いほうが学べるとは思います、集中できる良い日程です。

④何回かにわけてやったほうがよい。

⑤褥瘡がしやすいので少し心配だった。

4. 講義（演習含め）の時間配分について

イ. 講義については（長い・丁度良い・短い・その他） ロ. 演習については（長い・丁度いい・短い・その他）



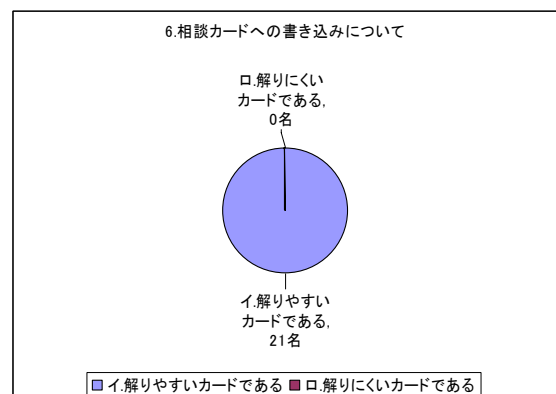
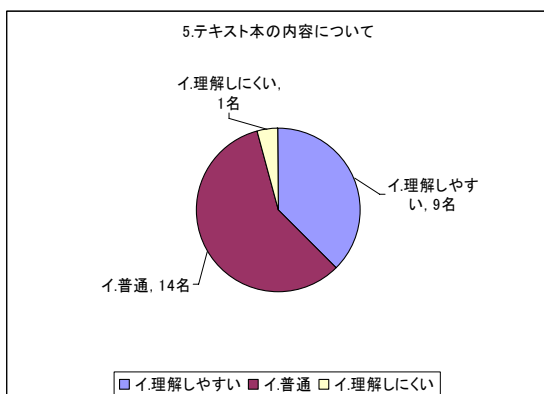
ハ. その他自由に

①講義については、もう少しユーモアを入れたら良かったと思います。

②内容の割に時間が短かったので、説明不足になっている講義があった。「記録のとり方とその重要性」は20分程度で充分だと思った。

5. テキスト本の内容について

イ. 本の内容は（理解しやすい・普通・理解しにくい・その他） ロ. その他自由に



①別紙でもいいから、生の声を入れて欲しい、それでどのように解決したか。

②もう少し活字を大きくして欲しい。イラストも、もう少し増やして欲しい。

③誤字が多すぎる。

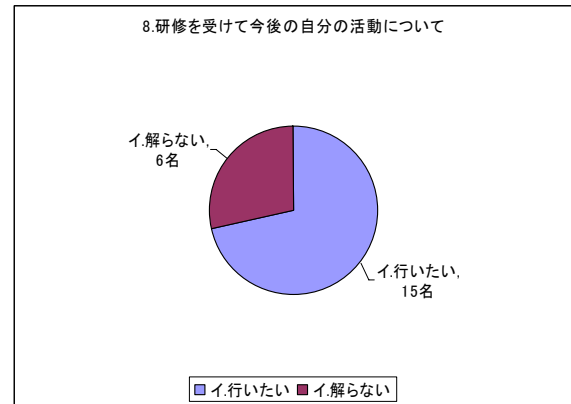
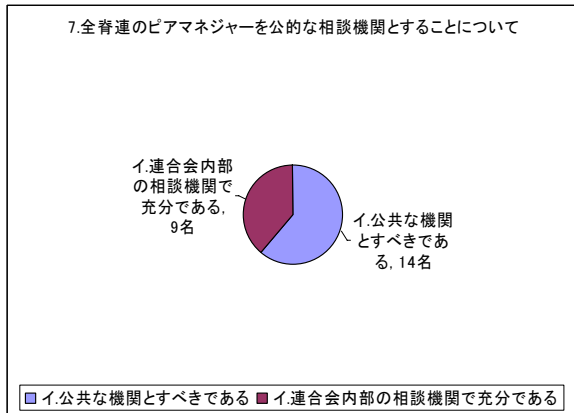
6. 相談カードへの書き込みについて

ハ. その他自由に（改善すべき事柄等）

①大変勉強になりました。

②まだ実際使っていないのでわかりません。

7. 全脊連のピアマネジャーを公的な相談機関とするについて



ハ. その他自由に

①公的な機関とする為には、更なるスキルアップが必要だと思う。

②相談の積み上げを行って、公的な機関にすること。

8. 研修を受けて今後の自分の活動について

イ. これからピアマネジャー活動を所属し部内で (行いたい・解らない・やりたくない・その他)

ロ. その他自由に

①事例が少ないので自信がない。

②必要性は感じる。

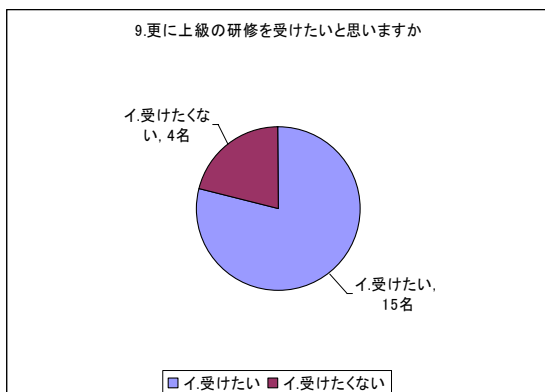
③行きたいが、仕事をしているので時間がとれるか自信がない。

④宮崎県は県北に長いので各地区地区で研修を増やして、各病院にピアマネジャーを。脊損会の存在感を知ってもらいたい。

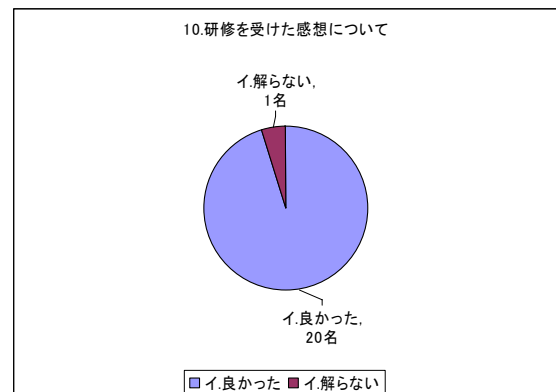
⑤床ずれのために、治療に長い時間がかかり、今やっと家での生活に慣れたばかりで、これから仕事に就きたいので社会的な自信を持った時に、所属支部内で活動していきたいです。

⑥これまでも支部内では、相談されれば行っていたが(居宅生活者)研修を受けて深みが出たと思う。しかし、入院中の方にサポートとなるとまだまだ不安がある。

9. 更に上級の研修を受けたいと思いますか



10. 研修を受けた感想について



ハ. その他自由に

①実践が大事

- ②近くであれば、是非受けたい。
- ③まず、この研修を基に更なる知識を広げて自分の活動に自信を持ちたい。
- ④当県の脊損会は、積極的な活動を行っていないし、熱い人もいません。今回、妻屋理事長はじめ大阪の辻氏など、本当に脊損者のことを考えている人の話に強く感銘しました。
- ⑤これからの相談はリスクも抱えるので、もう少し上を目指したい。
- ⑥仕事に向けての勉強や子育てに忙しく、まずは空いている時間を利用して今回のテキストをじっくり読んで基礎を学びたいと思います。
- ⑦時間に余裕があれば・・・2泊3日は長い。
- ⑧解らない。
- ⑨ピアマネジャーとしての実績を積み上げてから
 - イ. 今回研修を受けて（よかった・解らない・よくなかった・その他）
 - ロ. その他自由に
- ⑩本部の方にはお疲れ様と言いたいです。
- ⑪受傷して9年になりますが、何一つ学んでいないことを知りました。全てが大切な基本なので勉強になり、真剣に勉強していきたくと思いました。
- 11. 今回の研修会全般についての感想をお願いします。
- ①今回の研修に30名の参加者が有り、盛況で有意義であった。有り難うございました。
- ②専門性の高い講座でした。障害歴は長いのですが、知らなかったことや自分の価値観での判断が、支援をしていく時にはマイナスになることがあることを強く反省しました。知識を身につけ自信に繋がるようにしたいと思います。ありがとうございました。
- ③すごく勉強になりました。
- ④初心の人も解りやすかった。
- ⑤問題となることなく、素晴らしい研修会でした。
- ⑥これから先、障害者の負担が多くなり、金銭面が厳しくなるので、その時のアドバイスや色々な面でのサポートが必要になってくると思います。ピアマネジャーの知識向上が必要不可欠になってくると思います。例えば、住宅・就労・精神面その他あげればきりが無いと思いますが、これから先、各支部の活動が重要だと思えます。個人の秘密保持の徹底を図る。
- ⑦今回のピアマネジャー研修会を通し、ケアマネジメントを行う際に、健常者、障害者が抱えている悩みやニーズ`を如何に不愉快な思いをさせないよう、支援(サポート)してあげなければならないのか教えさせられた思いがしました。
- ⑧講習を受けて参考になった。実用に向けてもっと勉強していきたく。
- ⑨研修プログラム内容が短かすぎる。カリキュラムは科目が多すぎる。希望としては、中級・上級につなげるようなプログラム及びカリキュラムの構成を考えてもらいたい。実践的な立場での講義(小滝みや子さん)がわかりやすく、ためになった。
- ⑩知らないことも多く、勉強になった。
- ⑪県・会社ピアサポート・メンタルケア協会の講習(有料)を受け、九州では年2回講習会・又勉強会をしているため・・・?県の講習会が5日で少しわかったかなと思うくらいです。2日ではなくもう少し長くお願いします。現在のように、法律の変わりが早い自分たちも勉強しないとついていけないと思います。
- ⑫日本全国で毎年5,000人の脊髄損傷者が発生している。そして脊髄損傷者の発生率は人口100万人あたり約40人になる。この現実を知って、自分と同じように苦しみを乗り越えて必死に前

向きに生きている仲間が全国にいることを知りました。自分の今までを振り返って見ると、突然の受傷(起こるべきしておきた事故)から、手術、リハビリ、15ヵ月後の退院を通して一番の情報源は入院患者の脊髄損傷の方々でした。今回の研修を終えて、ピアマネジャーとしての私を待っていてくれる人が、どこかにいると思うと更なる勉強をして、相談者の心を開いて話ができるように、そして不安や苦しみが少しでも無くなるように、自立と社会復帰の支援ができる自分になれたらいいな・・・と思いました。

- ⑬夕食は懇親会にすべきだと思います。今後の情報交換に繋がる交流ができると思います。今回は名札が無かったので、交流するためにも名札を用意すべきです。(特に懇親会は)
- ⑭今回の研修を受講して大変有意義な時間を送ることが出来ました。私は頸損歴19年(C6・7完全)です。ADL等は自立していますが、改めて知ることも沢山ありました。ピア(同じ仲間)同士で展開していくマネジャーですが、早く日本全国に自然に展開していくことを願っています。一生付き合っていく障害を、福祉社会を自ら、もっと勉強して無理なく活用していける様にしていきたいものです。数々の経験と今回またこれから先に展開していくピアマネジャーの知識を今現在これから先、不安を抱えている仲間たちに情報を伝達し、また、サポートして行ける様、常に努力していきたいものです。時には、脊損のみならず障害を抱えている仲間にも何らかの形で活用できたら幸いだと思います。今回、生活のため(入浴、排泄等)に別の所に宿泊しましたが、交流する時間があつたらよかつたなあ～と思いました。今回、貴重な時間でお話を戴いている時にも係らず、前や後ろでうるさく話している方がいましたが、とっても残念なことだと思いました。遠方より来て頑張つて受けている仲間の1人としてショックでした。集中力が欠けました。今回得た貴重な知識と仲間、とっても大事にしたいものです。「一人は皆の為に、皆は一人の為に」。皆様お疲れ様でした。
- ⑮丁度良い参加人数だったと思います。講師が話している時に、後ろのほうで私語が多く、集中力がなかつたような気がする。交流会があれば良かった。名札があれば良かったと思う。
- ⑯社会復帰、家庭復帰が成功できた脊損と呼ばれる障害者なので参加することができた。せき損専門のドクターがいるリハビリ病院が増えてくれればと素朴に思います。
- ⑰今まで脊損連の集まりに参加していなかつたので、鹿児島だけでなく他県の方々にお会いできて良かったです。2日ともすごく内容が良く、退屈することなく集中して聞くことができました。演習では、お互いの意見の交換により、一つのことに對し、一つの答ではなく色々な考えがあることを学びました。今回は参加して良かったです。ありがとうございました。
- ⑱全てにありがとう。皆さんよく頑張っていました。
- ⑲グループ演習にて、色々な人の知識や考えも聞けて、自分の知識のなさ、勉強不足を感じた。
- ⑳もう少し時間をとって、やって欲しい。
- ㉑大変よかった。会員の人に教えてあげたい。相手の話の中で、気になる点、気づいた点、それから予想される事、必要な支援内容とか順序良く聞き取れ、うまくサポートできるか心配ですが、うまくサポートできるよう頑張りたいと思います。今回の研修会に参加できて良かったです。ありがとうございました。

◎中四国地区研修会アンケート集計結果(回答:27名)

1. 研修会を受けた動機について

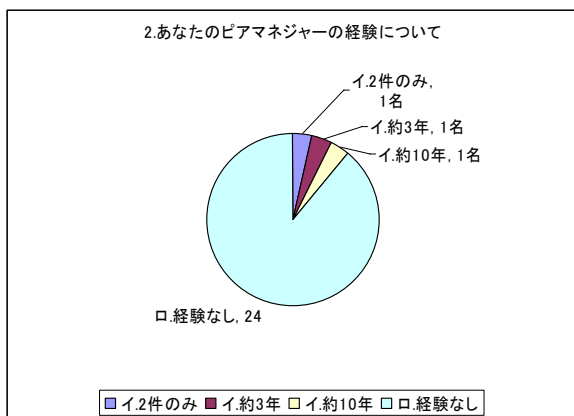
イ. 自由に

- ①知識を広げたくて
- ②少し興味があつた。

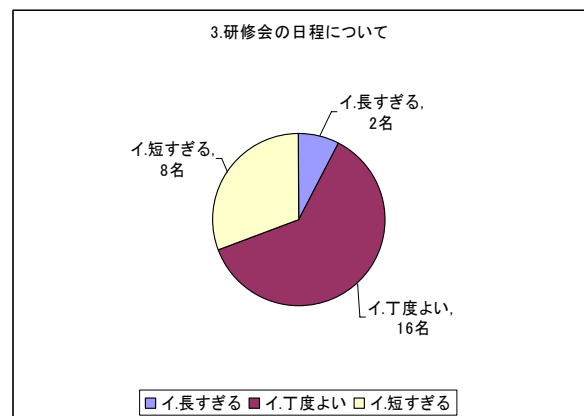
- ③現在、ピアカンの活動をしているから
- ④脊損ではないのですが、障害のある者(主人)です。脊髄損傷の方々とお付き合いをさせていただき、大変人が変わったように明るく、楽しく過ごさせていただきましたので、もっと皆様との付き合いを大切にしたいと思い参加しました。
- ⑤受講の機会を得たことに対して、どんなことをするか、半々でしたが大変に良かったです。
- ⑥身近な人が脊損になったが、情報が少なすぎ、自分がどう動いて良いのか解らなかつたため。少しでも脊損当人の役に立ちたい、身体のこと、取り巻く環境のことを理解したいと思い参加しました。
- ⑦仕事で(福祉ではないが)19年相談業務に係ってきたことを活かせないかと思いました。
- ⑧連合会より連絡があり、何か情報を得るため
- ⑨身近に脊損になる人がでたので、私に少しでも力になればと思って参加しました。
- ⑩役員会の席で聞いた。
- ⑪仕事に必要と考える
- ⑬紹介されて
- ⑭組織(脊損連合会)の会員拡充のためのピアサポートの重要性について関心がある。
- ⑮障害を持つ人の役に立ちたい。福祉について関心を持って
- ⑯障害について無知の為、勉強に来ました。
- ⑰連合会の勧め
- ⑱支部で若い会員をと思っていたのですが、いなくて私が参加しました。
- ⑲とりあえず勉強のため
- ⑳友人に紹介されて
- ㉑勉強して見たかった。
- ㉒これからの自分のため、又は、これから新しい仲間アドバイスができるかなと思って
- ㉓ピアマネジャーって、何をやるのだろうかと思って研修を受けさせて頂きました。

2. あなたのピアマネジャーの経験について

イ. ピアマネジャーの経験がある(約 年間)



3. 研修会の日程について



- ①特に無し、そのようなことをしたことが1~2度行ったことがありました。
- ②12年前にホームヘルパーの資格を取得
- ③障害者相談員2年
 - イ. 二泊三日は(長すぎる・短すぎる・丁度よい・泊 日がよい)

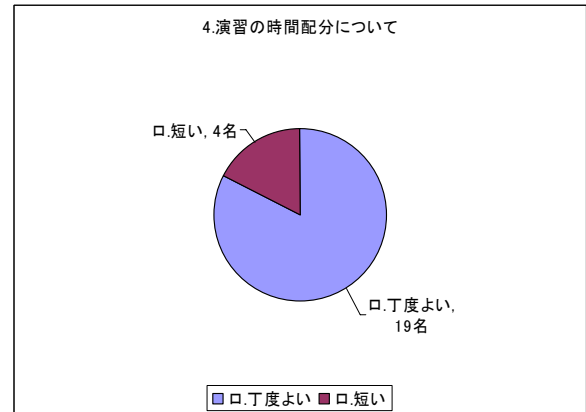
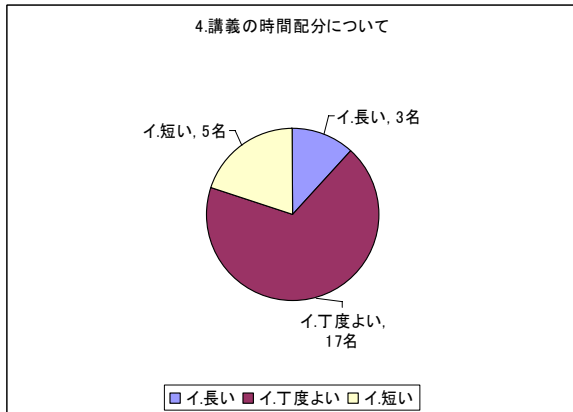
ロ. その他自由に

① 3泊4日がよい

② もう少し掘り下げて勉強していきたいです。

イ. 講義については（長い・丁度良い・短い・その他）

4. 講義（演習含め）の時間配分について



ロ. 演習については（長い・丁度良い・短い・その他）

ハ. その他自由に

① 講義について、長い、丁度よい、の両方がありました。

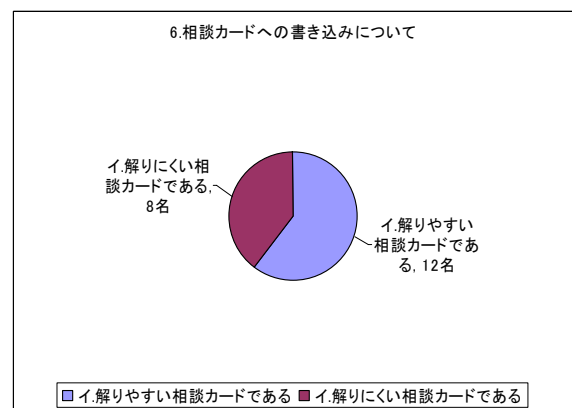
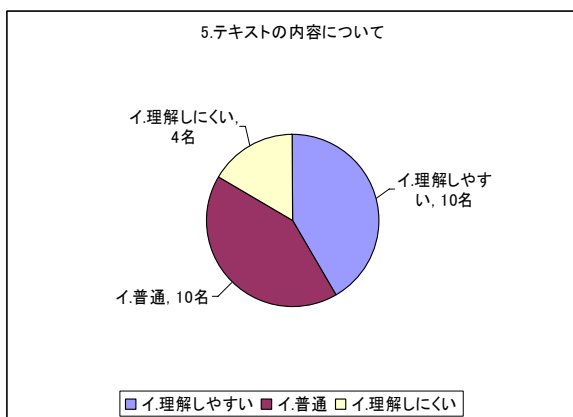
② 休憩時間が少なかった。

③ 中々頭に入らない、時間を長く

5. テキスト本の内容について

イ. 本の内容は（理解しやすい・普通・理解しにくい・その他）

6. 相談カードへの書き込みについて



ロ. その他自由に

① もう少しまとめて「勉強用」にして欲しい。「資料用」として、詳細部を別に

② その時、本を見ながら勉強していく。本の内容は頭の中に入らず

③ 先生方の内容説明で完全ではないが、大変素晴らしく良かった。

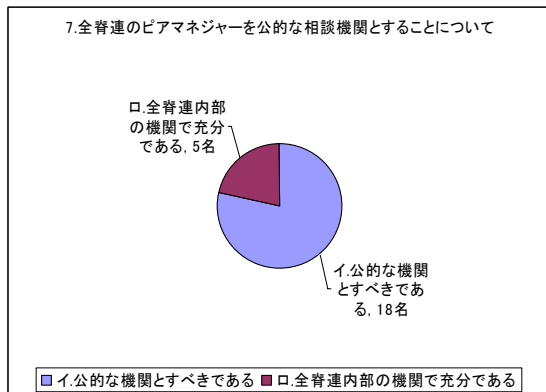
④ 受講後、もう一度読んだら別の面が理解できそうです。

⑤ 大変だったでしょう。お世話になりました。

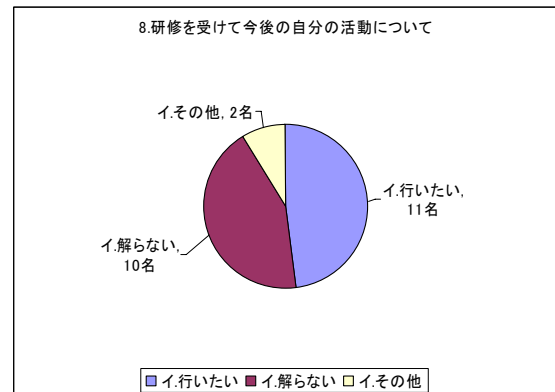
ハ. その他自由に（改善すべき事柄等）

- ①勉強がしたいです。
- ②自分自身において、今後の課題
- ③まだ書いてないのでよくわかりません。
- ④まだ解りません
- ⑤難しいですね
- ⑥実際、記入していないのでわからない。

7. 全脊連のピアマネジャーを公的な相談機関とする
いて



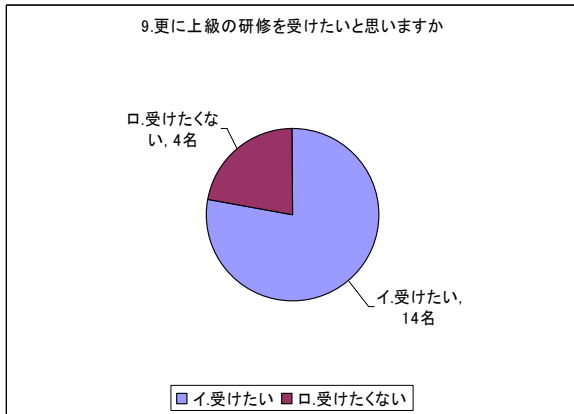
8. 研修を受けて今後の自分の活動につ
について



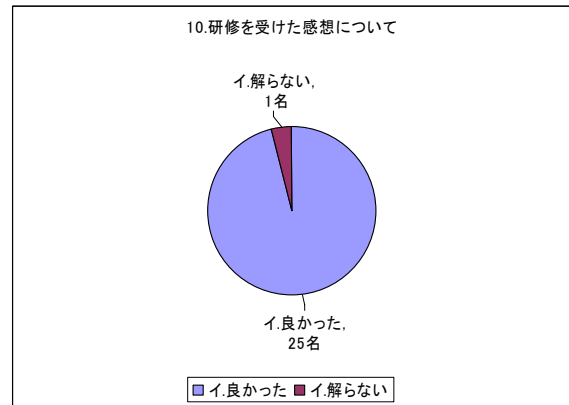
ハ. その他自由に

- ①脊髄損傷者の方のために
- ②どの程度のことができるか問題
- ③ピアマネジャーの社会的認知がどこまで展開できるかによって、改めて検討したらよい。
- ④他の職種から理解され、連携したい。
- ⑤将来的に公的機関にすべき
- イ. これからピアマネジャー活動を所属し部内で（行いたい・解らない・やりたくない・その他）
- ロ. その他自由に
- ①我が家にも障害を持ち、なお1週間後には、腹部動脈瘤の手術があります。まず立ち直ってから行いたい。
- ②出来る限りやっていく
- ③すぐにではないかも知れませんが、もう少し勉強したいです。
- ④自分で出来ることは行いたい。
- ⑤行いたいのが、非常に難しいことが良くわかった。
- ⑥会員さんに研修へ参加いただきチーム作り、情報収集の基盤づくり
⇒はじめてピアマネが活かされるのでは？

9. 更に上級の研修を受けたいと思いますか



10. 研修を受けた感想について



ハ. その他自由に

- ① 解らない
- ② 自分に時間が取れたら
- ③ チャンスがあれば
- ④ 経験を重ねて、支部内部での研修を考えて行きたい。
- ⑤ 気持ちはあっても活動可能かどうか
- ⑥ 今は解らない
- ⑦ 出来れば若い会員にも参加を勧めたい。

イ. 今回研修を受けて (よかった・解らない・よくなかった・その他)

ロ. その他自由に

- ① 全員交流する機会(1日目の夜など)あつて方がよいのでは?
- ② 勉強して行く
- 11. 今回の研修会全般についての感想をお願いします。
- ① 知識不足で理解できない言語等が多く、解らない部分が多々ありました。
- ② 人を相手にすることなので、不安が多くなった。自分が発することが如何に大切であるか確認しました。
- ③ 勉強が出来ることの幸せと、自分がもっと若かったらと、つくづく思います。皆様とお付き合いをさせていただきましてから10年ほどになりますが、夫婦何時も一緒に楽しい人生を過ごしています。病気になったことが良いか悪いか現実を見つめています。
- ④ 岡山県支部として、出来る限り。ピアマネジャー研修会が広く活動の場としてなるのが今後の課題。本部飲む方々に相談しながら
- ⑤ 講義だけでなく、演習があり、色々と意見交換ができて良かった。
- ⑥ 講師の方々のお話の仕方等、色々と勉強になりました。もっと勉強を重ね、さらに自分のこれまでの個人的な相談実績(仕事以外も)女性として、結婚、出産、就労等を通して、続けてきたことも併せ、ピアマネジメントへのスキルアップにつなげて行ければと思います。
- ⑦ 解らないことばかりで、勉強になりました。
- ⑧ 楽しく受講させていただきました。時間が「あっ」と言う間に過ぎてしまいました。もう少し、勉強していきたいです。でも、どのように勉強していったらよいのか?言葉が難しく知識不足でした。ありがとうございました。
- ⑨ 朝9時の開会はきつかった。岡山道をぶっとばして参加やっと思間に合いました。脊髄損傷につ

いて改めて考えた。受傷40年以上たって皆さんのお役に立てば

- ⑩大変勉強になり有り難く思っています。ピアマネジャーとして、活動するには大変なエネルギーを要すると思います。
- ⑪もう少し事例を多く入れて欲しかった。
- ⑫まだ知らないことが一杯で、これからも勉強だと思います。
- ⑬ピアマネジャーの知識が広いので個人としての役割は重要だが、チームとして対応できるよう各支部の活動の中に位置づける必要があると思った。
- ⑭講義を受けてよかったです。
- ⑮自立生活センター等で相談員をしながら、病院や県・市・町より声がかかり、出向いた程度で、本格的にサポートしていたとは思われませんので、今後は相談内容等を記録したり、各制度の情報を集めて保存したいと思っています。
- ⑯ピアサポートは、もう少し身近に行いたいと思います。
- ⑰ここまで組み立てられた諸先輩に感謝申し上げます。まだまだ、ピアサポートを必要とする身ですが、将来的に、仲間へのできる場所で参加できるようになればと思います。過去を振り返り、改めてピアサポートの大切さを感じ、社会でもとめられている参加型の地域づくりに、微力でもお返しできればと思います。
- ⑱とても良い研修会でした。ありがとうございました。
- ⑲相談を受けるとき、勉強した通りできるか不安です。支部内で年1~2回、勉強会が出来るようになれば良い。
- ⑳ついていだけで精一杯でした。もう少し勉強して、これからは役立てて行きたいと思った。
- ㉑ピアマネジャー・ピアサポート両方の面に対し少し理解ができました。事例に対しては、何が夢なのか?何が希望なのか?聞き出してあげることが大切さ、同じ介助者同士の情報交換、聞いてあげることの大切さ、本当に有り難うございました。2日間楽しかったです。良い勉強をさせていただきました。

◎第4回ピアマネジャー養成研修会修了者一覧(九州地区) =敬称略=

- 1、東 純二(鹿児島県支部) 2、前田 究(鹿児島県支部) 3、田中 勝(鹿児島県支部)
- 4、入来院 望(鹿児島県支部) 5、喜井 郁子(鹿児島県支部) 6、植山 竜三(鹿児島県支部)
- 7、樺 良徳(鹿児島県支部) 8、斉藤 正明(鹿児島県支部) 9、中村 弘美(鹿児島県支部)
- 10、山崎 二郎(東京都支部) 11、末永 茂樹(大分県支部) 12、矢羽田作男(大分県支部)
- 13、新田 輝一(神奈川県支部) 14、投野 文仁(大分県支部) 15、矢野 光孝(宮崎県支部)
- 16、甲斐 清美(宮崎県支部) 17、田中 勇(宮崎県支部) 18、永峰 英二(宮崎県支部)
- 19、小川 敬(宮崎県支部) 20、下川 厚子(福岡県支部) 21、藤田 幸廣(福岡県支部)
- 22、松川 健二(熊本県支部) 23、高原 政寿(大分県支部) 24、田端 弘(佐賀県支部)
- 25、長野美津子(佐賀県支部) 26、藤家 政弘(佐賀県支部) 27、重松 良秀(佐賀県支部)
- 28、野崎 泰史(佐賀県支部) 29、船津 正弘(佐賀県支部) 30、荷川 取礼子(沖縄県支部)

◎第5回ピアマネジャー養成研修会修了者一覧(中四国地区) =敬称略=

- 1、高谷亜矢子(大阪府支部) 2、珍行美貴夫(岡山県支部) 3、珍行富美子(岡山県支部)
- 4、福田 一夫(岡山県支部) 5、小林 良幸(岡山県支部) 6、妹尾 幹夫(岡山県支部)
- 7、藤原 福雄(岡山県支部) 8、福田 定子(岡山県支部) 9、岡本 久美(岡山県支部)

- 10、狩野 保子(岡山県支部) 11、上森 武(岡山県支部) 12、赤堀 龍吉(岡山県支部)
 13、阿部 幹雄(岡山県支部) 14、阿部 真弓(岡山県支部) 15、白井 重徳(岡山県支部)
 16、岡本 茂(岡山県支部) 17、笠井弥太郎(山口県支部) 18、見山 洋子(山口県支部)
 19、宮原 博之(山口県支部) 20、田村 治仁(香川県支部) 21、森 昌一(香川県支部)
 22、前田 晋(岡山県支部) 23、山本 一夫(岡山県支部) 24、迫畑 吉美(広島県支部)
 25、日野浦 紳(広島県支部) 26、櫛田美知子(東京都支部) 27、久次 幸恵(広島県支部)

6. 平成18年度東北ブロック・ピアサポート研修会の実施

この度の研修会は、第14回日本物理療法学会学術大会特別企画、褥瘡対策シンポジウム in 東北に併せて平成18年10月14日、福島県郡山市の学校法人こおりやま東都学園、郡山健康学科専門学校8階講堂で開催され、参加者225名(脊損会員25名)の下、以下の方々が発表、質疑応答が行なわれ盛会に終了しました。

1. 「褥瘡の評価と皮膚の診方」WOC 看護師の立場から
 (財)郡山市星総合病院 WOC 看護認定看護師：永井 真理子
2. 「褥瘡対策チームにおける理学療法士の役割—東北大学病院の現状と展望」
 東北大学病院リハビリテーション部 理学療法士：佐藤 房郎
3. 「褥瘡と物理療法」
 藤リハビリテーション学院技師長 理学療法士：加地 啓介
4. 「耐圧分布装置による評価の紹介」
 郡山健康科学専門学校作業療法学科主任 作業療法士：樋口 正勝
5. 「(社)全国脊髄損傷者連合会の概要と自己管理について」
 (社)全国脊髄損傷者連合会理事：小森 一昭
6. 「内視鏡による盲腸瘻増設手術を受けて」
 (社)全国脊髄損傷者連合会福島県支部会員：樋口 征二
7. 「尿失禁に対する海外の最新治療事例」
 特別講演：講師 Chris. Csattel 先生

7. 近畿東海ブロック ピアマネジャー養成研修会の実施

事業の目的

連合会本部で平成16年度よりピアマネジャー養成研修事業が始まり全国で多くの会員が受講された。しかし、時間に制約があり十分な内容ではなく、実践に向けて更に研修が必要であり、質の高いピアマネジャー養成のためブロック協議会で支援する。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・研修名/脊髄損傷者のピアマネジャー養成研修 ・内容/ピアマネジャーのフォローアップ研修 ・対象者/脊損ピアマネジャー養成受講者及び会員 ・受講者数/27名 ・会場/滋賀県立長寿社会福祉センター ・日時/平成18年11月25日 10:00~16:00 ・講師/辻 一(大阪府支部支部長、(社)大阪脊髄損傷者協会会長) ・資料/脊髄損傷者のトータル・リハビリテーションのために |
|--|

【2】障害者自立支援法案等に対する取り組み

1. 障害者自立支援法の改善のための要望活動

自立支援法の10月施行により、全身性障害者の長時間介護のサービス類型が重度訪問介護へ再編されました。しかし、重度障害者の地域生活にとって重度訪問介護は様々な問題点を内包しているため、当事者団体としての立場から以下の要望について、与党の関係議員ならびに厚生労働省に働きかけました。

1点目は、長時間サービスを利用するうえでの制約について緩和を要望しました。この結果、
○障害程度区分が区分3であるなど、本来であれば重度訪問介護の支給要件を満たさない場合であっても、従来から長時間サービスを利用している場合は、経過措置で重度訪問介護を利用できる。

○重度訪問介護の支給決定を受けている場合でも、通院介助などとの併給を受けられる。などの改善が実現しました。

2点目は、居宅内および外出中のヘルパーサービスの介護報酬が最大で29.5%も引き下がっていることから、重度障害者の生活基盤が掘り崩されることのないように、引き下げに対する緩和措置を要望しました。時を同じくして、960億円（2ヵ年）の補正予算による激変緩和が自由民主党内で検討されていたことから、障害者自立支援法円滑施行特別対策において、在宅重度障害者地域生活支援基盤整備事業として、

○頸髄損傷者やALS患者など、新人ヘルパーに長期間のオンジョブトレーニングを要する場合の同行研修を含め、年額100万円～200万円の範囲内で事業者研修費を補助（平成19年度および平成20年度）

○同法の10月施行により10%超の減収となった重度訪問介護事業者に対する減収補償（平成18年度下半期から平成20年度上半期まで（都道府県が認めた場合は平成20年度下半期まで）の措置が講じられています。

在宅重度障害者地域生活支援基盤整備事業の経費として、厚労省は2ヵ年度で20億円を見込んでいます。ところが、960億円の補正予算を原資として、47都道府県にそれぞれ基金を造成して補助メニューに分配するため、入所施設や通所施設とパイを奪い合うこととなります。このため、重度訪問介護の事業者がきちんと助成を受けることによって、サービス基盤が整備され、重度障害者の地域生活に還元されるように、各支部におかれても都道府県庁と積極的に協議していただくようお願いいたします。

2. 障害者自立支援法と介護保険法の統合問題

自立支援法と介護保険法が、ともに平成21年度に大改正を予定していることから、介護保険の被保険者の年齢を引き下げることにより、障害者福祉と高齢者福祉を統合することが厚労省において検討されています。

これについて、「介護保険制度の被保険者・受給者範囲に関する有識者会議」で平成19年2月に当会を含む障害者団体に対するヒアリングが実施されました。その席で、

○介護保険統合が実現した場合、現行の障害ヘルパーの支給水準が介護保険ヘルパーの支給水準（1日5時間）に達していない市町村（全国で約9割）では、「1日5時間」がヘルパー支給上限として固定化してしまう。これは、支援費制度以来の「上限を設けることなく個々人の状況に応

じて支給決定する」という障害ヘルパーの基本理念に反するだけでなく、当該市町村では1日5時間以上の介護を要する重度障害者が地域で暮らせなくなることを意味する。などの理由から、慎重に議論するように求めました。

3. 障害者差別禁止法及び権利条約などに関する法律の動向

韓国で3月6日、「障害者差別禁止及び権利救済等に関する法律」が国会で通りました。内容は本則50条と付則からなる法律です。

第2条の障害の定義は「身体的・精神的損傷と機能喪失が長期間にわたって日常または社会生活に相当の制約をもたらす状態」となっています。「提案書」の理由のところには、既存の福祉法との整合性をはかり、さらにそれよりも差別禁止の対象の幅を広げたと書いてあります。

第5条では差別の判断では差別の原因が2つ以上でそのおもな原因が障害であると認められる場合にはこの法による差別とみなす」となっており、第6条「差別禁止」では、「障害又は過去の障害の経歴または障害があると推測されるという理由での差別を禁止する」となっています。

法案提出書の理由の部分には、禁止する差別を直接差別、間接差別、合理的配慮の提供の拒否となっています。

【3】労災補償関係の取り組み

1. 「労災遺族年金手引き」の普及

全国の会員から上記「手引き」の注文を受け販売してきました。07年4月11日現在、「手引き」の残部は、1,326冊です。この「手引き」は、神奈川労働局配下の労災年金相談室から「この“手引き”は、大変分かりやすく、よく出来ていますね。配下のすべての労基署に配布しました」と新田宅を訪問された担当官に評価されました。

2. ブロックや支部による「労災遺族年金研修会」の開催を下記の通り支援いたしました。

平成18年度は、沖縄県支部（平成17年10月24日、沖縄県内で開催）、東京都支部（1月29日）、東北ブロック（3月5日—仙台開催—宮城県支部担当）、千葉県支部（7月2日）、岐阜県支部（7月9日）、近畿・東海ブロック（奈良県担当）、で開催いたしました。本部は、この労災遺族年金研修会の開催支援を継続いたしますので、研修会の開催を希望するブロック、支部は、連合会本部へ電話などで開催希望をお知らせください。

3. 平成18年5月、九州ブロックの協力のもと、労災遺族年金受給者調査を実施しました。

4. 上京した岩手県支部（阿部容子支部長）役員や北海道支部（広島雄偉支部長）役員と共に連合会本部役員は、協議を行った。岩手労災病院の廃止について、厚生労働省交渉を行う。厚生労働省から、問題解決のための基本的な回答はなかった。

5. 労災保険法の「介護（補償）給付」について、介護給付金額は、被災労働者の障害者の重さ、要介護度に見合った時間と金額が必要です。しかし、現実には、このことが無視されています。

6. 被災者の妻や夫などの家族による被災者への介護の補償を実現するよう運動しました。

しかし、政府や厚生労働省は、何ら具体的な改善策を提示しなかった。

7. 山口県支部（笠井弥太郎支部長）の岡島氏からの報告

07年1月下旬、所轄労基署から会員へ連絡があり、それまで支給されていた会員の介護補償給付について、“会員の就労を理由”に、「今後、支給出来ない」と電話連絡がありました。岡島氏からの質問は、「他の支部で、就労を理由に介護補償給付の支給が停止された事例はありますか？」というものでしたが、新田は「そのような事例はありません」と回答しました。

数日後に岡島氏から電話連絡があり、先日の件で山口県支部から労災年金相談室へ電話で調査を依頼したところ、数日後、相談室から岡島氏に回答があり、「先日の労基署の連絡は、労基署の誤りで、介護補償給付を支給することになりました」となり、山口県支部会員の問題は解決されました。

8. 労働福祉部——18年度政府交渉（9月19日実施）と今後の課題

この報告は、平成18年9月号の脊損ニュースで報告いたしました。（省略）

9. 労災遺族年金獲得などの運動——本部へ要請のあったものを実施しました。

9-1 神奈川県支部（関東ブロック）から——労基署の判断で「業務上」となった。

平成18年5月死亡、A氏（男・68歳）——労災遺族年金他の支給決定—労災アフターケア
死亡原因＝重症感染症、左坐骨部褥瘡、糖尿病

事故発生時の年齢＝ 歳で怪我

受傷後、 年で死亡。労基署と交渉しました。

9-2 本部労働福祉部では、今後も遺族（補償）年金研修会の開催を支援し、不幸にして逝去された労災せき髄損傷者の死亡を業務上と認定してもらい、ご遺族に労災遺族年金を支給してもらう運動を継続いたします。

神奈川県支部（関東ブロック）から——労基署の判断で「業務上」となった。

平成18年6月死亡、B氏（男・54歳）——労災遺族年金他支給決定、—労災アフターケア
死亡原因＝敗血症、腎盂腎炎

事故発生時の年齢＝ 歳で怪我

受傷後、 年で死亡。労基署と交渉しました。

9-3 M県支部（東北ブロック）から——不服審査請求の結果、「業務外」から「業務上」となった。

平成18年X月死亡。（享年約70歳）昭和40年受傷。会員遺族から、支部事務局を通して、本部へ死亡による労災保険法の「業務上認定と遺族年金の支給」を実現して欲しい、と要請される。M県支部事務局による運動を本部が支援しました。

生年月日 = 昭和9年、事故発生日 = 昭和40年、死亡時年齢

= 満 約70歳、

死亡年月日 = 平成18年 X月。

（問題点1） 死亡診断書に書かれた死因の病名は、「肺炎」。死亡労働者の損傷部位は、頸髄損傷。しかし、労基署の判定は「死亡＝業務外」。その理由は、死亡した病院のカルテが“労災保険でないこと”、“健康保険の患者だった”ため、業務外となった。

県労働局労災保険審査官へ不服審査請求書を提出した日＝平成19年4月20日、

（問題点2） 県下の労災病院から地域の病院へ転院する時、家族が病院の医事課へ「国民健康保険証」を提出したため、死亡した会員の医療区分は、国民健康保険の対象となっていた。被災者は、労災保険法の障害補償給付（労災の年金）を受給していたが、労災保険の対象となっていたのは、せき髄損傷者なのに、「泌尿器科の疾患、障害」のみが対象であった、と。病院の主治医による疾患の判定内容が問題だった。こんなことがあるのかと、本部もびっくりした（後日、病院の医事課と労基署が訂正した）。

労災患者が転院する時の注意（労災患者が転院する時は、今まで治療を受けていた病院で①「転院届け」を受取り、転院先の医事課へこの①「転院届け」と②「労災保険法の年金証書」とを、一緒に提出しなければなりません。）

この前後で宮城県支部事務局は、頻りに労基署と労基局を訪問。被災者と家族の状況を担当官へ訴えた。M県支部による 不服審査請求の結果＝この会員の死亡は、「業務上」となった。

9-4 M県支部（東北ブロック）から—— 会員 平成18年9月死亡、D島氏（男・66歳）

死亡原因＝脳梗塞（のため、業務外となった。）

事故発生時の年齢＝ 歳で怪我

受傷後、 年で死亡。

課題＝遺族は、労災保険法の遺族年金支給を希望しているが、平成5年10月交付の「基発第616号」で定めた合併症に脳梗塞が入っていないため、業務外でした。

10. 労災事故と自賠償の問題について

10-1 T県支部会員 ⑥ 頸髄損傷者（鞭打ち症か？）

07年3月本部に申請。F氏（男・40歳位）——自賠償利用の会員。

事故に遭ってから、1年を経過した。しかし、病院のリハから、もう自賠償は打ち切られたので、国保で訓練を受けてください、と言われた。しかし、まだ訓練は終了していないので、訓練を継続できるようにしてほしい。

弁護士から、本人への回答

頸髄損傷者と言うけれども、「むち打ち症」と判断できる。むち打ち症の場合、リハビリは、1年で打ち切りと決められている。また、むち打ち症の中で、多くの人が「ウソをついてむち打ち症だ」と訴える人が多いので、むち打ち症の被災者の給付は、半額を減額されることになっている。今回は、支援は無理、と。診断書が取れる場合は、再度、検討します、と。

10-2 M県 会員 ⑥ 07年3月本部へ要請 F島氏（男・19歳）——今後、支援を実施する。

要請内容＝自賠償の給付を一つでも多く利用したいので支援を。

事故発生時の年齢＝ 19歳の時、オートバイで怪我。頸髄損傷者

課題＝施設は、伊東市の国立重度身障センターなので、一度、訪問し、見舞う予定。

11. 今後の労災病院の統廃合について

① 厚生労働省は、平成16年3月30日（火）に「労災病院の再編計画」によって、以下の説明図の通り具体的な再編計画を立て、その中で、平成18年度末（平成19年3月31日）までには「岩手労災病院」を廃止すると説明してきました。

○ 廃止対象病院

病院名	廃止予定時期	備考
霧島温泉労災病院	平成17年3月末廃止	○ 大牟田労災病院の廃止に当たっては、特別措置法の趣旨及びCO中毒患者の療養の現状を踏まえた対応を検討する。
珪肺労災病院	平成18年3月末廃止	
大牟田労災病院	平成18年3月末廃止	
岩手労災病院	平成19年3月末予定	
筑豊労災病院	平成20年3月末予定	

（なお、美唄・岩見沢、九州・門司の労災病院統合も別途定められています。）

しかし、政府の言うように政府の都合だけで、患者を無視して労災病院を廃止したり、極めてお粗末となる民間病院へ譲渡することは、許されません。

- ② 平成18年5月24日、岩手県支部役員が上京。共に、国会議員を訪問、病院の継続を陳情。(鈴木俊一衆議院議員)秘書の和光新二氏他の議員事務所を訪問し、実情を訴えた。議員個人としても、今まで精力的に運動して来たが、しかし、具体的な前進回答は得られなかった。
- ③ 平成19年1月17日、美唄の北海道支部代表団と本部本部理事、全労災の労働組合理事らが国会に集合し、美唄労災病院の今後の対策を協議、関係議員へ今後の支援を要請した。

12. 労災リハビリ作業所の今後の整理、運営について

6月9日、労災リハビリ作業所の整理の件で、労働者保健福祉機構の岩田部長他と面会。労災リハビリ作業所の今後の運営方針などについて協議した。今後の労災リハビリテーション作業所のモデル作業所は、「千葉の作業所」(千葉県長生郡)となった。

【4】障害者差別禁止法の制定についての取り組み

1. JDA実現に向けた立法府(国会)対策

(1)「JDA研究会(永田町)」(超党派/衆・参国会議員)の開催。

政界の流動的な動向から研究会は実施できなかった。各党(野党)幹部との非公式な意見交換にとどまる。

(2)「21世紀の福祉社会を創る市民エキスポ2007」を開催。

(2007年1月17日、参議院議員会館・第一会議室)

基本テーマ:「障害のある人への差別がなくなる社会を目指して!

—全ての人が、その人らしく、ひとりでも、生きていける社会の実現を—

シンポジスト:国会議員、学者、弁護士、ジャーナリスト、JDA全国ネット役員を含む障害当事者など12名。

野党3党の有力国会議員が、「直近の国会に、JDAの議員立法を提出する」方向が確認された。

「障害のあるすべての人が、人間として生きていくための7つの宣言2007」が採択された。

本年7月の参議院議員選挙にあたり、各政党宛に「障害のある人に対する差別を禁止する法律(裁判規範性のある法律)を制定すること」をマニフェストに盛り込むことの要請書を提出することを、参加者150人の全会一致で決議し、同日、各党政策担当責任者に手交する。

2. JDA実現に向けた地方議会対策

(1)千葉県での「障害者差別禁止条例の制定」を目指しての支援活動の展開。

堂本暁子・千葉県知事とのインタビューの実施(2006年5月)

NPO法人日本アビリティーズ協会の会報「アビリティーズNO.148号」(2006.9発行)に掲載。千葉県での「障害のある人もない人も共に暮らしやすい県づくり条例」は、2006年10月11日の「9月定例県議会」最終日に、全会一致で可決、成立した。(初の「障害者差別禁止条例」が誕生)

この「千葉県条例」に準じた“条例”を東京都、神奈川県、埼玉県など、まず首都圏で実現することを目指して予備的な運動展開を行なった。

(2)第4回「21世紀の福祉社会を創る市民エキスポ2006」(大阪)の開催。

(2006年5月28日(日)、大阪市中央公会堂)

基本テーマ:「自立支援法と障害のある日本人の未来」

「障害者差別禁止法の実現に向けて」のPARTで、当会の団体会員を含む4つの障害当事者団体の代表、日弁連などによる活動状況報告等が行なわれた。

3. JDA実現運動を展開している他の関連団体との連携。

- (1) 日弁連の「障害を理由とする差別を禁止する法律・要綱案「試案案」に関する意見交換会への参加。(2006年11月27日)
- (2) 第12回障害者政策研究会全国集会「切り開こう権利の時代！私たちが作る制度・政策」に参加。(2006年12月9・10日)

【5】請願活動・省庁交渉・ロビー活動及び民間法人等への要請活動

1. 各省庁交渉及び各政党等への要請活動

○厚生労働省、警察庁との合同交渉

第41回理事会(拡大理事会)翌日の9月19日、橋本聖子参議院議員(全脊連顧問)の斡旋により参議院議員会館の第二会議室に於いて厚生労働省、警察庁との合同交渉を行いました。

この交渉には、全脊連側から妻屋理事長はじめ17名の理事が出席。厚生労働省から、労災補償部労災管理課法規係長、同労災保険業務室、同労災管理課、年金福祉第一係長、機構調整第二係長、障害福祉課訪問サービス係長、企画課地域生活支援事業係長、障害福祉課企画法令係厚生労働事務官が出席。また警察庁からは警察庁交通局運転免許課課長補佐が出席しました。

◎厚生労働省への要望項目

1. 労働者災害補償保険法による介護等の改善を求める要望

- (1) 被災労働者が全身性障害者となった場合、その被災労働者の在宅生活等に必要な介護は、介護時間、介護金額等に上限を設けず、必要な介護の請求の全額を補償すること
- (2) 労災保険法の被災労働者の要介護度は、現行の「常時介護」から「随時介護」の2段階評価から、「要介護1」から「要介護5」までの5段階評価とすること。また、各要介護度の補償金額は介護保険法の支給限度額を最低補償額とすること
- (3) 同居家族等による親族介護に対して、他人介護であるホームヘルパーと同一点数(単価)の介護(給付)を認めること
- (4) 「労災保険法」と他の法律による介護給付の調整を即時中止すること
- (5) 現在まで、当連合会と岩手県支部他は、労災病院廃止反対の運動を継続して来ましたが、病院の廃止を阻止する私たちは、これからも更に厚生労働省による適切な指導を期待しております。
- (6) 労災保険法によるホームヘルパーの派遣を更に充実してください。被災労働者が生活する地域で生活する労災ホームヘルパーを必要人数、養成すること

※脊損ニュース11月号(No.404)に掲載

2. 障害者自立支援法に係る要望について

- (1) 義務的経費であるホームヘルプサービスの事業費全般が国庫負担の対象となるように
- (2) 重度訪問介護に特別加算を
- (3) 地域生活支援事業の予算増を
- (4) 労災介護の優先適用の廃止を

※脊損ニュース1月号(No.406)に掲載

3. 警視庁への要望項目

指定自動車教習所(学校)のバリアフリー環境整備にかかる要望

- 1) 全国の指定教習所を車いす使用者対応の全面バリアフリー化を促進させること
- 2) 車いす使用者等が運転できる手動装置等を装置した車両を全ての指定教習所に配備すること

4. 岩手労災病院の問題に対する要望書の提出

11月21日、岩手労災病院の問題に関する要望書を各衆議院議員及び各参議院議員に提出しました。出席者は、岩手県支部からは阿部岩手県支部長はじめ会員の皆さん他、本部からは妻屋理事長はじめ各理事。

1) 脊髄損傷患者に対する治療をはじめ、これまでの岩手労災病院の機能を最大限に維持するためにご尽力いただきたいこと

2) 後継医療機関については、岩手労災病院の機能を責任をもって維持できる医療機関とするようご尽力いただきたいこと

3) 現行の岩手労災病院の職員の雇用の確保にご尽力いただきたいこと

5. 「介護保険制度の被保険者・受給者の範囲拡大」について

2月5日に開催された介護保険制度の被保険者・受給者の範囲に関する有識者会議において、

1) 障害福祉の介護保険編入について①9割の市町村で重度障害者が地域生活できなくなる②制度利用者のための制度改善ルートの必要性 2) いわゆる「共生型サービス」について①共生型サービス論はライフステージの違いを捨象している②介護保険ではヘルパーの長時間連続利用を認めない市町村がある③介護保険ではヘルパーの業務が障害ヘルパーに比べ限定されている④ヘルパー資格の問題⑤セルフケアプランが事実上不可能になる⑥介護保険のケアマネジャーに管理される⑦健常者家族同居の場合、介護保険では家事援助の利用を規制される⑧車椅子等の補装具の問題について、大濱副理事長が意見を述べました。

※介護保険制度の範囲拡大に対する意見聴取について

「介護保険制度の被保険者・受給者の範囲に関する有識者会議(京極高宣議長)」開催にあたり、各障害者団体から意見を聞くためのヒアリングが行われることになり、11月20日付け、介護保険制度の範囲拡大(介護保険と障害者施策の統合)に対する全脊連の考え方を事前に取りまとめるため全国45支部に対して、賛成・反対・条件付で賛成などについてその理由や条件などの意見聴取を行ないました。

回答支部29支部(反対支部・25支部、賛成または条件付で賛成支部・4支部)

脊損ニュース3月号(No.408)に掲載

【6】 体育振興事業

1. スポーツ競技大会に後援または協賛し広く障害者の体育の振興を図りました。

(1) 第35回記念 日本車いすバスケットボール選手権大会／平成18年4月28日～30日

(2) 第6回ピパオイカップ車いすバスケットボール選手権大会

兼全国障害者スポーツ大会北海道ブロック代表選考会／平成18年8月26日～27日

(3) 第15回理事長杯争奪 東北ブロック車椅子ゲートボール大会・岩手県大会／
平成18年10月1日

(4) 第7回関東甲信ブロックスポーツ交流会・グラウンドゴルフ大会／平成18年10月7日

【7】 福祉機器等のモニターの募集

1. (財)日本障害者リハビリテーション協会からの調査依頼に関して

「障害者施策総合調査」(生活環境・情報・コミュニケーション等)に関する調査依頼があり、各県支部へ協力要請文を送付した結果、許可回答があり、各県支部からの調査協力者330名

に調査票を送付しました。

2. (財) 共用品推進機構が実施するアンケート調査について

「高齢者・障害者の日常生活の不便さ調査」について協力要請があり、今回はウェブ上でアンケート調査を実施するということから、メール通信ができるモニター（回答者）を支部長はじめ支部役員を含め各支部より10名程度募集しました。第1回目のテーマは、スーパーでの不便さ調査でした。

モニターになって戴けた方は、今後も定期的にアンケート調査に回答して戴くようになります。

3. 歩車道境界のユニバーサルデザインを目指した構造の評価実験

ガイドライン見直しのための一環として、望ましい構造が未だ十分に明らかにされていない歩車道境界部の構造を対象とした評価実験に東京都支部、千葉県支部の会員が参加しました。

【8】自動車運転免許取得支援事業

自動車の運転免許の教習に、必要な分だけ宿泊、入浴などの介助サービス、介護タクシーを自由に組み合わせることができる「障害のある人のための運転免許」のホームページを開設しました。現在のところ、東京・埼玉・千葉・神奈川など関東圏を中心に提携校を増やしていく予定です。

《これまでの経過報告》

- 1) 自動車運転免許取得支援事業に対する《問い合わせ数》は、8件あり
 - 2) 具体化している方は3名。(神奈川県1名・兵庫県1名・群馬県1名)
 - 3) 神川氏との契約書に関して、正式な契約書が完成していないため、早めに完成させる予定
 - 4) 神川氏の自動車運転免許取得支援事業に関する活動報告を、きめ細かく、全脊連側に行う「要請」をする、事とした。
- ※ 自動車運転免許取得支援事業に関しては、第46回理事会（拡大理事会）で、全脊連側としての活動は「運転免許取得希望者に対する紹介」のみ行なう方向が出された。

「障害のある人のための運転免許」のホームページです。

<http://www.for-dab.jp>

お電話の方は、03-5605-1524(平日9:30~17:30まで)

免許をとられた方もOK!福祉車両などの情報を掲載したメルマガ(無料)で登録できます。

3. 運営活動資金の関連事業

全脊連の運営活動資金は、全国の皆様の会費収入を基本とし、一方ではファイザー株式会社様、株式会社ニッシン自動車工業様、コンビウィズ株式会社様、日本ヘルスケア株式会社様などの企業から手厚いご支援をいただき本部事務局体制の維持を図りました。また、ガソリンの購入には、エネオスアソックカードに加入していただくよう脊損ニュースにてお願いしました。

4. 会員増強活動及び賛助会員募集活動

会員勧誘のためのパンフレット「明日から元気ケア」の配布やピアサポート活動を通じて会員

の増強を図っていただくよう各県支部に呼びかけを行いました。また、賛助会員の増強についても、関連企業や団体、個人などに対し本部だけではなく各県支部にも協力要請のお願いと募集活動を行いました。

5. 厚生労働大臣表彰者の推薦

12月6日、第56回厚生労働大臣賞の表彰式が行なわれ、当連合会の推薦を受け、本部副理事長の新田輝一氏が更生援護功労者として表彰されました。

6. 会議の開催等

(1) 第5回総会の開催

第5回総会山形県大会は6月17日～19日の3日間の日程で山形市にある山形テルサにて開催されました。この大会には、33支部・総勢で207名の参加がありました。

記念式典の感謝状贈呈式では、本部・山形県支部及び各県支部より推薦された28名の方々が受賞。また、記念式典の後には「障害者用駐車場利用について利用制限の制度化を目指して」と題したシンポジウムが行われました。

総会議事では、第1号議案（平成17年度事業報告）、第2号議案（平成17年度収支決算報告・監査報告）、第3号議案（平成17年度事業計画）、第4号議案（平成18年度予算案）、第5号議案（その他の案件）について審議の結果、承認されました。

(2) 拡大理事会の開催

平成18年度の拡大理事会は2回開催しました。

第41回理事会（拡大理事会）は、平成18年9月18日、東京都障害者スポーツセンターにて開催しました。出席者は16名。主な議題として、各ブロックからの報告、本部からの報告のほか省庁交渉、第5総会の総評、第6回総会の開催、その他について討議しました。

第46回理事会（拡大理事会）は、平成19年3月24日、東京都障害者スポーツセンターにて開催しました。出席者は17名。主な議題として、各ブロックからの報告（ブロック会議の日程等）、本部からの報告（ネット版宿泊ガイド、自動車運転免許取得支援、ピアマネジャー養成研修事業、介護保険制度の範囲拡大に関するヒアリング報告、労災病院の統廃合に関する活動報告等）のほか、平成19年度の事業計画、平成18年度の収支決算書、労災遺族年金、障害者自立支援法、第7回全国総会、第6回総会東京大会その他について討議しました。

(3) 理事会の開催

平成18年度の理事会（拡大理事会、四役会議含む）は第37回理事会～第46回理事会の計11回開催しました。

①第37回理事会

開催日 平成18年 4月16日

会場 目黒区心身障害者センター「目黒あいアイ館」（東京都目黒区）

出席者 11名 委任状提出者 4名

②第38理事会

開催日 平成18年 5月21日

会場 目黒区心身障害者センター「目黒あいアイ館」（東京都目黒区）

出席者 9名 委任状提出者 6名

③第39回理事会

開催日 平成18年 7月9日
会 場 目黒区心身障害者センター「目黒あいアイ館」(東京都目黒区)
出席者 9名 委任状提出者 7名

④第40回理事会

開催日 平成18年 8月1日
会 場 目黒区心身障害者センター「目黒あいアイ館」(東京都目黒区)
出席者 10名 委任状提出 3名

⑤第41回理事会(拡大理事会)

開催日 平成18年 9月18日
会 場 東京都障害者スポーツセンター(東京都北区)
出席者 16名 委任状提出者 2名

⑥第42回理事会

開催日 平成18年10月21日
会 場 目黒区心身障害者センター「目黒あいアイ館」(東京都目黒区)
出席者 8名

⑦第43回理事会

開催日 平成18年11月30日
会 場 目黒区心身障害者センター「目黒あいアイ館」(東京都目黒区)
出席者 9名 委任状提出者 7名

⑧第44回理事会

開催日 平成19年 1月13日
会 場 目黒区心身障害者センター「目黒あいアイ館」(東京都目黒区)
出席者 10名 委任状提出者 5名

⑨四役会議

開催日 平成19年 1月31日
会 場 「食の道」(群馬県吉岡町)
出席者 6名

⑩第45回理事会

開催日 平成19年 2月10日
会 場 目黒区心身障害者センター「目黒あいアイ館」(東京都目黒区)
出席者 9名 委任状提出者 5名

⑪第46回理事会(拡大理事会)

開催日 平成19年 3月24日
会 場 東京都障害者スポーツセンター(東京都北区)
出席者 16名 委任状提出者 2名

(4) 各ブロック会議の開催

②東北ブロック会議

開催日 平成18年9月30日(会議)・10月1日(ゲートボール大会)
開催県 岩手県支部『ホテルシティプラザ北上』

◎本部からは大濱副理事長が出席

③北越四県ブロック会議

開催日 平成18年7月2日～3日
開催県 石川県支部 『能登ロイヤルホテル』
◎本部から大濱副理事長が出席

④関東ブロック会議

開催日 平成18年11月18日
開催県 群馬県支部 『ウェルサンピア高崎』
◎本部からは妻屋理事長はじめ関東ブロック在籍の理事が出席

⑤近畿東海ブロック会議

開催日 平成18年9月24日
開催県 京都府支部 『京都テルサ』
◎本部からは妻屋理事長が出席

⑥中・四国ブロック会議

開催日 平成18年11月22日
開催県 山陰支部 『米子全日空ホテル』
◎本部からは大濱副理事長が出席

⑦九州ブロック会議

開催日 平成18年11月10日～11日
開催県 大分県支部 『サンバリー・アネックス』
◎本部からは妻屋理事長が出席

7. その他の活動

1) 1月17日、衆議院議員会館第2会議室において「障害者差別禁止法を実現!」のシンポジウムが開催され、全脊連より新田副理事長はじめ各理事が参加しました。

2) メイスン財団による電動車いす寄贈に関して

平成18年度のメイスン財団による「電動車いす寄贈」に関しては、下記の3施設に全脊連が仲介し寄贈されました。

- ①社団法人東京都障害者スポーツ協会 ②社会福祉法人千葉県身体障害者福祉事業団
③財団法人仙台市身体障害者福祉協会

(9) 各理事その他の活動

〔妻屋理事長〕

*本部理事会出席 4/16 5/21 7/9 8/1 9/18 10/21 11/30 1/13 2/10 3/24

*スカイパーフェクトテレビ試写会出席(国際医療福祉大学大学院) 4/3

*脊損ニュース編集会議出席(江戸川) 4/4 6/2 7/9 9/8 12/3

*自動車運転免許事業打ち合わせ 4/4 5/6 6/16 7/18 11/5(千葉県)

*インターネット版「全国車いす宿泊ガイド」合同会議 出席 4/8 4/22 5/27 6/24 7/22 8/26 10/7
11/4 12/16 1/21 2/12 3/10

*インターネット版「全国車いす宿泊ガイド」打ち合わせ等(江戸川) 7/10 8/23

*障害者の所得保障に関する研究委員会出席(全社協) 4/12 5/24 10/20 12/20 2/7

*メイスン財団助成金贈呈式出席(東京メソニック協会) 4/21

*本部事務所行き 4/25 7/18 8/23 1/12

- * 身体障害者団体連絡会総会出席（全社協） 4/25
- * 車いすバスケットボール選手権大会式典出席（代々木体育館） 4/29
- * 自動車運転免許事業で古賀一成議員への陳情（議員会館） 5/9
- * 大熊ゆき子のえにしの会シンポジウムのパネリストとして出席（霞ヶ関） 5/13
- * (株)コンビウイズと面談（自宅） 5/15 2/22
- * せきずい基金のES細胞の講演会参加（目黒）（横浜ランドマーク） 5/20 10/9
- * 岩手労災病院廃止問題で岩手県支部陳情団に参加（議員会館） 5/24 11/21
- * 労災作業所改変で健康福祉機構との検討会会議・ヒアリングに出席（目黒） 5/9 8/10
- * 財団法人共用品推進機構理事会出席 6/15 3/20
- * 自立支援法の負担軽減で自民党のヒアリングに出席 6/25
- * 全国総会山形県大会出席 6/17~6/18~6/19
- * 岩手労災病院廃止問題で岩手県支部と花巻市との交渉に出席 6/20 11/14
- * 北越ブロック会議石川県大会に出席 7/2~7/3
- * (財) 共用品推進機構の交流会に出席（六本木） 7/4
- * バリアフリー新法に関する国土交通省の説明会（江戸川） 7/5
- * 障害者の所得保障に関する学習会出席（栃木県） 7/6~7/7
- * ピアマネジャー養成研修事業準備・評価委員会（戸山サンライズ） 7/17 10/29 2/3
- * JDF 代表者会議出席（戸山サンライズ） 7/24 10/11
- * 中央障害者施策推進協議会出席（総理大臣官邸） 7/26
- * 車いす公共交通機関利用時における車内安全研究委員会出席 7/26 10/3 1/30 3/22
- * かわさき福祉産業振興ビジョン検討委員会出席 8/1 1/18 1/25
- * アクセシブルデザイン国際規格検討委員会出席（共用品推進機構） 8/2
- * バリアフリー新法に関する国土交通省のヒアリング 8/2 10/6
- * 株式会社キロックス社長との打ち合わせ（自宅） 8/7 12/27 1/5 3/13
- * バリアフリー新法の基本方針の策定等に関する懇談会出席 8/9 10/10
- * 建築物移動等円滑化基準等に関する懇談会出席 8/9 10/11
- * アクセシブルデザイン技術標準化開発委員会（共用品推進機構） 8/10 11/28 2/22
- * 自立支援法について元厚生労働大臣尾辻議員との協議（議員会館） 8/14
- * ピアマネジャー養成研修会（鹿児島県） 9/1~9/4
- * ファイザー株式会社のリーダー養成研修会出席 9/7~9/8
- * アクセシブルデザインフォーラム検討委員会（共用品推進機構） 9/13 10/24 11/29 12/19 2/7
- * 厚生労働省・警察庁・国土交通省との交渉（議員会館） 9/18
- * バリアフリー教育訓練実施研究委員会出席 9/22 12/19
- * 近畿東海ブロック会議京都大会出席 9/24~9/25
- * 国際福祉機器展出展（有明） 9/27
- * NHKテレビ「おはようモーニング」車いすガイド取材 9/29
- * 全国総会開催依頼で千葉県支部役員会出席 9/30
- * アクセシブルデザイン検討委員会（共用品推進機構） 10/6 11/6 2/28
- * 都市公園施設の規定及び都市公園移動等円滑化基準の策定に関する懇談会 10/10
- * JDA 常任理事会出席（アビリティーズ協会） 10/14
- * 車いす宿泊ガイドのバリアフリー写真打ち合わせ キロックス 10/19

- * 八代英太顧問の懇親会（板橋） 10/27
- * JDA ネットワークと鳩山由紀夫との懇談 11/7
- * 新宿京王プラザホテルのバリアフリー取材 11/8
- * 読売新聞「医療ルネッサンス」でピアマネに関する取材 11/8
- * 九州ブロック会議大分県大会出席 11/9～11/11
- * 橋本聖子議員パーティー（赤坂プリンスホテル） 11/15
- *（財）共用品推進機構で会議の打ち合わせ 11/15
- * 関東ブロック会議群馬県大会出席 11/18～11/19
- * 千葉県支部忘年会出席 12/2
- * 「障害のある人のための運転免許取得」学習会（三田女性会館） 12/5
- * 公明党パーティー出席（霞ヶ関ビル） 12/5
- * 厚生労働大臣賞授与式（厚生労働省） 12/6
- * ピアマネジャー養成研修会（岡山県） 12/8～12/11
- * ユニバーサル社会推進議員連盟会議（自民党本部） 12/21 2/16 3/13
- * 榎屋敬悟議員・橋本聖子議員へのご挨拶（議員会館） 1/12
- * 国土交通省消費者行政課長へのご挨拶 1/12
- * 美唄労災病院廃止問題で厚生労働省交渉及び武見敬三副大臣に陳情 1/17
- * 全国総会開催で千葉県支部役員会出席（市原市） 1/20
- * 自立支援法に関して木村義雄議員（自民党）に陳情（議員会館） 1/24
- * 監査役との4役会議出席（群馬県） 1/31
- * インターネット版車いす宿泊ガイドのお披露目会（京王プラザホテル） 2/2
- * 歌麿会新年会出席（横浜） 2/4
- * 介護保険の範囲拡大に関する有識者会議のヒアリング（厚生労働省） 2/5
- * 雑誌「ホテル・旅館」取材（戸山サンライズ） 2/6
- * 公共交通移動等円滑化整備ガイドライン検討委員会 2/6
- * 記者会見の打ち合わせ（国土交通省） 2/8
- * 旅客船のバリアフリーガイドライン作成委員会 2/9 3/22
- * 千葉リハビリテーションのピアサポート会議出席 2/17
- * インターネット版車いす宿泊ガイドの記者会見（国土交通省） 2/19
- * アクセシブルミーティング検討委員会（共用品推進機構） 2/16
- * 美唄労災病院の廃止問題で武見敬三副大臣と交渉 2/23
- * 埼玉県支部新年会出席 2/25～2/26
- * 障害者団体連絡協議会の第4回学習会に出席（全社協） 2/27
- * 高齢者・障害者の利用を配慮した建築設計標準改訂検討委員会（国土交通省） 30/19
- * 利用者の視点に立ったバリアフリー化評価指標の検討委員会 3/28

〔大濱副理事〕

- * ATR 京都 4/3、4/4、4/5、11/6、11/7
- * 村山医療機構 4/8
- * 全社協 4/12、4/25、7/3、7/4、11/2、2/15
- * 厚労省 4/17、5/24、8/16、8/30、10/3、11/15、12/19、12/21、1/17、3/14

- *DPI 4/15、4/16、6/24、10/21、10/22、11/18、11/25、11/26、2/11
- *SIJ理事会 4/16、5/21、7/9、8/1、9/18、11/5、11/30、1/13、2/10、3/24
- *衆議院 4/21、10/24、10/26、11/28、12/5、12/18、1/10、2/15、2/16、3/27
- *政策PT 4/22
- *第二議員会館 4/27、5/24、7/18、7/19
- *八王子ヒューマン 5/2
- *東京都庁 5/10、5/11
- *東京支部 5/14、6/10、8/6、8/27、9/26、11/12、12/3、1/20
- *公明党 5/24
- *日赤会館 5/30
- *国リハ 6/7
- *自民党本部 6/15 10/24、11/16
- *山形総会 6/17、6/18、6/19
- *名古屋CIL 6/29
- *神戸 6/30
- *運動器の10年 7/1
- *北陸ブロック会議 7/2、7/3
- *ICCP 電話会議 7/14
- *ピアマネ戸山サンライズ 7/17、10/29
- *ATR 8/7
- *JDF 8/8、9/13
- *道路九段会館 8/9
- *JSCF 8/10、9/5、10/26、1/11、2/18
- *ES ヒアリング 8/26
- *参議院 8/30、10/24、
- *九州地区ピアマネジャー 9/1、9/2、9/3
- *政策研 参議院 9/4
- *自民党ヒアリング 9/12
- *省庁交渉 9/19
- *ユニバーサルデザイン懇談会 9/25
- *東北ブロック会議（岩手）9/30、10/1
- *JSCF ランドマークホールイベント 10/9
- *アトランタ ICOP 10/12、10/13、10/14、10/15、10/16、10/17
- *福岡脊損センター 10/19
- *所得保障 10/20、12/14、12/20、2/7
- *慶応大 戸山教授 10/31
- *日本脊髄障害学会 11/9
- *厚労省 橋本聖子事務所 11/15
- *関東ブロック 11/18、11/19
- *中四国ブロック会議 11/22、11/23
- *総務省副大臣室 12/6

- * 都議会 12/13、12/22
- * 戸山サンライズ 12/27
- * 群馬 SIJ 11/31
- * 新年会 2/2
- * 介護保険ヒアリング 2/5
- * 阪大再生医療 3/10
- * 国交省 3/28

〔成瀬副理事長〕

- * 理事会 4/16、5/21、7/9、8/1、9/18、10/21、11/30、1/13、2/10、3/24
- * 第5回総会山形県大会 6/17~19
- * 省庁交渉（参議院議員会館） 9/19

〔新田副理事長〕

- * 「JDA研究会（永田町）」の開催
- * 「JDA実現を各政党の選挙公約としてマニフェストに盛り込むことの要請書」の提出
- * 東京都議会議員（民主党）を招いての勉強会「JDA研究会（東京都）」を開催
- * 05年5月に「福祉エキスポ2005—住み慣れた地域で住み続けられる社会」と題し、東京と大阪でシンポジウム「福祉エキスポ2005」を開催
- * 05年6月に都議会議員選挙に向けた都議会各派に対し、公開質問状を提出
- * 理事会出席 6/30、9/26、11/26、3/20
- * 省庁交渉 9/27
- * 05年12月の「第11回障害者政策研究全国集会」に参加
- * 06年1月の日本弁護士連合会主催のシンポジウム「差別禁止法の制定に向けて——障がいのある人に対する配慮義務——」に参加
- * 05年12月の「第11回障害者政策研究全国集会」参加
- * 06年1月の日本弁護士連合会主催のシンポジウム「差別禁止法の制定に向けて——障がいのある人に対する配慮義務——」に参加
- * 東京都支部主催・労災遺族年金研修会（東京都障害者スポーツセンター） 1/29
- * 東北ブロック主催・労災遺族年金研修会（宮城県心身障害者福祉センター） 3/5

〔市川専務理事〕

- * 理事会の議事録及び次回理事会開催案内作成 5/6、5/7、6/4、6/5、6/6、7/15、7/16、7/17、8/12、8/13、8/14、10/14、10/15、11/13、11/14、11/15、12/23、12/24、12/25、2/5、2/7、2/8、2/22、2/23
- * 理事会 4/16、5/21、7/9、8/1、9/18、10/21、11/30、1/13、2/10、3/24
- * 第5回総会山形県大会への出席 6/17・18・19
- * 岩手労災病院統廃合関係で議員会館へ 5/16
- * 岩手労災病院統廃合関係で岩手県へ 6/20
- * 北海道労災病院統廃合関係で議員会館へ 1/17
- * ピアマネ事業の書類（開催案内・議事録作成）作成 6/28、7/22、7/23、10/9、11/1、1/9、2/7、2/8

- * 九州地区ピアマネ養成研修会出席 9/1、9/2、3/4
- * 中・四国地区ピアマネ養成研修会出席 12/7、12/8、12/9、12/10

〔千葉専務理事〕

- * 脊損ニュース編集会議 4/4、5/2、9/8、3/10
- * インターネット版車いす宿泊ガイド合同会議&打合せ（ロックシステム本社） 4/8、4/22、5/27、6/24、7/10、7/22、8/26、10/7、10/19、11/4、11/22、12/16、1/21、1/31、2/12、3/10
- * 財務関係（本部事務所）4/6、4/28、5/18、5/26、6/14、7/10、7/13、7/27、8/23、9/8、10/18、12/4、1/11
- * 理事会出席 4/16、5/21、7/9、8/1、10/21、1/13、2/10、3/24
- * 医療福祉機構助成金説明会 4/18
- * 「人に優しい地域の宿づくり賞」選考委員会（全旅連）4/19、5/11
- * 全社協総会（新霞ヶ関ビル）4/25
- * 要望書提出（衆議院議員会館）5/24
- * 第5回総会山形県大会（山形テルサ）6/17～6/19
- * 労災遺族年金勉強会（千葉リハビリテーションセンター）7/2
- * 脊髄損傷者のピアマネジャー養成研修事業、準備・評価委員会（戸山サンライズ）7/17、2/3
- * 自動車運転免許取得支援事業打合せ 7/18
- * 「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」に基づく公共交通移動等円滑化基準の策定に関する懇談会 8/8、10/10、3/26
- * 労災作業所ヒアリング 8/10
- * 第4回脊髄損傷者のピアマネジャー養成研修会/九州地区（ウエルサンピア鹿児島あいら）9/2～3
- * 国際福祉機器展 9/27
- * 公共交通移動懇談会（国土交通省）10/10、3/26
- * 千葉リハスタッフとの勉強会（千葉リハビリテーションセンター）10/21、2/17
- * 第6回ヘルスケア団体ワークショップ 10/28～10/29
- * 道路空間懇談会（経済産業省）11/6
- * 日本脊髄損傷医学会（京成ホテルミラマーレ）11/9～11/10
- * 千葉リハ脊髄損傷講習会（千葉リハビリテーションセンター）11/11
- * 歩車道境界のユニバーサルデザインを目指した構造の評価実験（松戸市）11/13
- * 関東甲信ブロック会議（ウエルサンピア高崎）11/18～11/19
- * 陳情活動（衆議院議員会館）11/21
- * 千葉リハ公開講座&千葉県支部忘年会（千葉リハビリテーションセンター）12/2
- * 「障害のある人のための運転免許」提携校交流会（港区女性センター）12/5
- * 「公共交通機関旅客施設の移動円滑化整備ガイドライン及び障害者・高齢者等のための公共交通機関の車両等に関するモデルデザイン検討のための懇談会 12/7、2/28
- * 第5回脊髄損傷者のピアマネジャー養成研修会/中四国地区（岡山テルサ）12/9～12/10
- * 岡山県支部忘年会（岡山テルサ）12/10
- * 業者打合せ（本部事務所）12/14
- * 神奈川県支部忘年会（フォーラム246）12/17
- * 「障害者の社会参加促進等に関する国際比較調査」第一回検討会議（リサーチセンター）1/25

- *本部・東京都支部合同新年会&インターネット版全国車いす宿泊ガイドお披露目会（京王プラザホテル）
2/2
- *ユニバーサルデザイン懇談会（弘済会館） 2/6
- *インターネット版全国車いす宿泊ガイド記者発表（国土交通省） 2/19
- *ヘルスケア関連団体世話人会（ファイザー） 2/22
- *ヘルスケア関連団体世話人会合宿研修会（箱根） 3/31~4/1
- *脊損ニュース校正 4月号~3月号
- *第5回総会山形県大会議案書作成 3月~

〔赤城理事〕

- *理事会出席 4/16、5/21、7/9、8/1、9/18、10/21、11/30、1/13、2/10、3/24
- *脊損ニュース校正 4/3、4/4、5/2、5/8、6/5、6/7、7/3、7/5、7/31、8/2、9/4、9/6、10/2、10/4、11/1、11/6、12/4、12/6、1/5、1/8、2/5、2/7、3/5、3/7
- *脊損ニュース入稿準備 4/21、4/24、5/26、5/28、6/25、6/26、7/23、7/24、8/27、8/28、9/23、9/24、9/25、10/23、10/24、11/25、11/26、11/27、12/19、12/20、12/21、1/27、1/28、2/25、2/26、3/26、3/27
- *脊損ニュース入稿 4/25、5/29、6/27、7/25、8/25、8/29、9/26、10/25、11/28、12/22、1/29、2/27、3/28
- *脊損ニュース編集会議 4/4、6/2、6/24、9/8、12/3
- *インターネット版車いすガイドブック会議 出席 4/22、5/27、7/22、8/26、10/7、10/19、11/4、12/16、1/21、2/12、3/10
- *総会議案書 校正 5/2、5/6、5/7
- *第5回総会山形県大会 6/17、6/18
- *省庁交渉 9/19
- *国際福祉機器展 全脊連のブースに一日つめる 9/28
- *ランドマークホール 脊髄基金講演に出席 10/9
- *京王プラザ取材 インターネット版ガイドブック 11/8
- *橋本 聖子パーティー参加 11/15
- *関東ブロック会議群馬県大会出席 11/18、11/19
- *千葉県支部忘年会参加 12/2
- *公明党パーティー参加 12/5
- *本部&東京都支部合同新年会およびインターネット版車いすガイドブック お披露目会 2/2

〔澤藤理事〕

- *理事会出席 4/16、7/9、8/1、9/18、10/21、11/30、1/13、2/10、3/24
- *第5回総会山形県大会 6/17~19
- *省庁交渉（参議院議員会館） 9/19
- *国際福祉機器展見学 9/29
- *インターネット版車いす宿泊ガイド合同会議 4/8、4/22、5/27、7/22、10/7、11/4、1/21、2/12、3/10
- *東京支部・本部合同新年会&インターネット版全国車いす宿泊ガイドお披露目会 2/2
- *WalkAgain 10/9

*その他自宅にて、E-Mail 及びファックスによる情報配信を行っています。

〔佐々木理事〕

- *理事会 4/16、5/21、7/9、8/1、9/18、10/21、11/30、1/13、
- *第35回記念 日本車いすバスケットボール選手権大会 4/28~4/30
- *第5回総会山形県大会 6/17~19
- *国際福祉機器展 9/27
- *第7回関東甲信ブロックスポーツ交流会・グラウンドゴルフ大会 10/7
- *関東甲信ブロック会議（ウェルサンピア高崎） 11/18~11/19
- *東京支部・本部合同新年会&インターネット版全国車いす宿泊ガイドお披露目会 2/2

〔進藤理事〕

- *理事会及び準備作業 4/16 5/21 6/1 6/14 6/19 7/9 8/1 9/17 9/18 10/11 10/21
11/30 1/13 2/10 3/19 3/24 3/30
- *自動車免許取得支援事業 4月：4日間 5月：7日間 6月：12日間 7月：8日間 8月：6
日間 9月：8日間 10月：4日間 11月：5日間 12月：4日間 1月：3日間 2月；7
日間 3月：2日間
- *インターネット版車いす宿泊ガイド合同会議及び展示会ほか 4/8 4/22 7/10 7/22 8/26
8/28 8/30 8/31 9/25 9/27 9/28 9/29 9/30 10/3 10/7 10/19 10/31 11/2 11/4
11/22 12/16 1/11 1/15 1/21 2/1 2/2 2/12 3/10
- *JDF会議 5/12 5/23 8/8 10/24 11/27 12/8 12/11 12/27 1/17 1/25 3/27
- *省庁交渉 5/24 7/11 9/19
- *内閣府障害者総合調査委員会 11/17 2/24
- *国土交通省・エコモ主催公共交通車両デザイン検討会 3/26
- *本部事務処理 4/6 4/10 4/14 5/8 5/9 5/11 5/14 5/17 5/18 5/26 6/28 6/29
7/27 7/31 8/7 10/9 11/10 11/15 11/22 11/29 12/18 1/12 1/16 1/18 1/22
1/23 1/26 1/29 1/30 2/9 2/13 3/1 3/5 3/12 3/13 3/15 3/22

〔佐藤監事〕

- *会計監査（佐藤宅） 5/19
- *理事会 9/18
- *省庁交渉 9/19

〔上田監事〕

- *理事会 4/16、5/21、8/1、9/18、10/21、11/30、1/13、3/24
- *東京支部役員会 4/30、6/29、10/12、11/23
- *会計監査（佐藤宅） 5/19
- *第5回総会山形県大会 6/17~6/18
- *東京無年金の会特別集会 7/23
- *千葉県支部主催ぶどう狩り&バーベキュー昼食会 9/10
- *省庁交渉 9/19

- * 国際福祉機器展 10/27~10/28
- * 神奈川県支部ナイトクルーズ 10/18
- * 研究会 10/24
- * 総会 11/11
- * 関東甲信ブロック会議 11/18~11/19
- * 千葉県支部忘年会 12/1
- * メイسن財団助成事業書届 12/11
- * 神奈川県支部忘年会 12/17
- * 東京支部・本部合同新年会&インターネット版全国車いす宿泊ガイドお披露目会 2/2